

令和元年度

年 報

枚方市保健所

目 次

	頁
第1 沿革	1
第2 市の概況	2
第3 保健所活動の指標	3
第4 組織表	5
第5 現員表	7
第6 施設の概要	8
第7 事務事業の概要	9
I 令和元年度の主要施策	9
II 保健企画課事務概要	15
III 保健衛生課事務概要	34
IV 保健予防課事務概要	55
V 保健センター事務概要	72
資料編 平成30年死因別死亡数、性・年齢（5歳階級）	87

第1 沿革

昭和19年10月 北河内郡枚方町三矢354番地に、枚方町及び寝屋川町を管轄区域として、大阪府立枚方保健所開設

昭和20年 4月 枚方町中振1616番地の大阪府立枚方健民修練所内に移転

昭和22年 8月 枚方市制施行

昭和23年 6月 枚方市禁野667番地に庁舎移転

昭和24年10月 枚方市三矢322番地に庁舎移転

昭和30年10月 北河内郡津田町が枚方市と合併し、大阪府四條畷保健所から大阪府枚方保健所へ管轄替えとなる。

昭和37年11月 枚方市禁野327番地に現庁舎竣工

昭和40年 4月 住居表示が枚方市大垣内町2丁目2番2号となる。

昭和46年 4月 大阪府寝屋川保健所開設により、寝屋川市が管轄外となる。

昭和62年10月 枚方市禁野本町2丁目13番13号に枚方市立保健センター開設

平成 4年 7月 保健センター別館開設

平成26年 4月 枚方市の中核市移行に伴い、保健所が大阪府から枚方市に移管され、「枚方市保健所」開設。枚方市立保健センターは「枚方市保健センター」と名称変更

平成28年 4月 保健センター内に口腔保健支援センターを設置

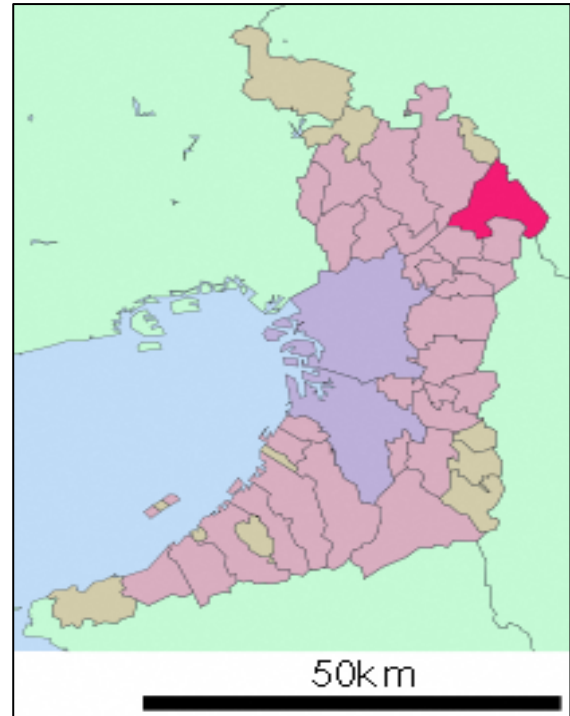
平成29年12月 北部支所内にすこやか健康相談室＜北部リーフ＞開設

第2 市の概況

枚方市は、大阪府の北東部にあり、その面積は65.12km²、人口は約40万1千人である。

市の地理的環境は、淀川と生駒山系に挟まれて、淀川の左岸上流部に位置し、東北部は京都府に、南部は寝屋川市・交野市及び奈良県に、西部は淀川を境として高槻市及び島本町に接している。

市の社会的環境は、大阪のベッドタウンとして京阪線沿いに昭和33年の香里団地及び昭和42年のくずはローズタウンの建設等の大規模宅地開発が進み、昭和54年国鉄片町線の四条畷・長尾駅間の複線化に伴う沿線住宅開発により昭和40～50年代は急激な人口増加がみられた。人口は、昭和50年代後半から自然増加を中心とした緩やかなものとなり、近年は横ばいの状況である。



市内の産業については、昭和41年に国道1号の枚方バイパス開通等の道路交通整備に伴い、金属製品や機械器具製造を中心とした工場団地や家具及び既製服団地等の進出等がみられた。平成に入ってから、津田サイエンスヒルズの開発、大学の進出等新たな発展の兆しがみられるとともに、平成22年3月には第2京阪道路が全面開通した。また、都市化の進展とともに、上下水道、ごみ処理施設等の生活環境施設の整備も進んでいる。

公衆衛生においては、平成6年に健康・福祉推進都市宣言を行い、平成24年には市内の健康と医療に関わる13団体が協定を締結し、「健康医療都市ひらかたコンソーシアム（共同事業体）」を設立した。また、医療機関の整備も進み、近年では、関西医科大学附属枚方病院（現・関西医科大学附属病院）の開設（平成18年1月）、北河内夜間救急センターの寝屋川市域から枚方市域への移設（平成22年11月）、大阪府立精神医療センター（現・大阪精神医療センター）の建て替え（平成25年4月）、市立ひらかた病院の建て替え（平成26年10月）等、管内の公衆衛生の水準は次第に高まってきている。

当保健所としては、平成26年4月に大阪府から保健所機能が移管されたことを受け、既存の保健センターと一体的な市の組織として、少子高齢化、疾病構造の多様化、生活環境の変化等時代の変遷とともに、健康危機や災害等においても対応するよう、大阪府をはじめとする行政機関や地域組織との緊密な連携のもとに公衆衛生行政の遂行に努めている。

第3 保健所活動の指標

項 目				枚 方 市	大 阪 府	
面 積 (km ²)				65. 12	1, 905. 29	
人 口 (人)			男	192, 582	4, 237, 115	
			女	208, 492	4, 587, 960	
			計	401, 074	8, 825, 075	
世 帯 数				181, 062	4, 092, 538	
人 口 密 度 (人／km ²)				6, 159	4, 632	
医 療 施 設	病 院	一 般 病 院		23	478	
		結 核 療 養 所		0	0	
		精 神 科 病 院		2	39	
	診 療 所	一 般	数	283	8, 481	
			1 施設当たり人口	1, 415. 9	1, 040. 5	
		歯 科	数	209	5, 518	
			1 施設当たり人口	1, 917. 2	1, 599. 2	
人 口 動 態	出 生		実 数	2, 705	65, 446	
			人 口 千 対	6. 8	7. 6	
	死 亡		実 数	3, 768	89, 494	
			人 口 千 対	9. 4	10. 4	
	乳 児 死 亡 (再 掲)		実 数	9	131	
			出 生 千 対	3. 3	2. 0	
	自 然 増 加		実 数	△1, 074	△26, 817	
			人 口 千 対	△0. 27	△0. 30	
	死 産		実 数	65	1, 410	
			出 産 千 対	23. 5	21. 1	
人 口 動 態	主 要 死 因 別 状 況	悪性新生物		実 数	1, 091	25, 793
				人口10万対	272. 3	298. 6
		心 疾 患		実 数	701	14, 610
				人口10万対	174. 9	169. 1
		脳血管疾患		実 数	263	5, 665
				人口10万対	65. 6	65. 6
		肺 炎		実 数	267	7, 393
				人口10万対	66. 6	85. 6
		自 殺		実 数	49	1, 465
				人口10万対	12. 2	17. 0
		不慮の事故		実 数	73	2, 510
				人口10万対	18. 2	29. 1

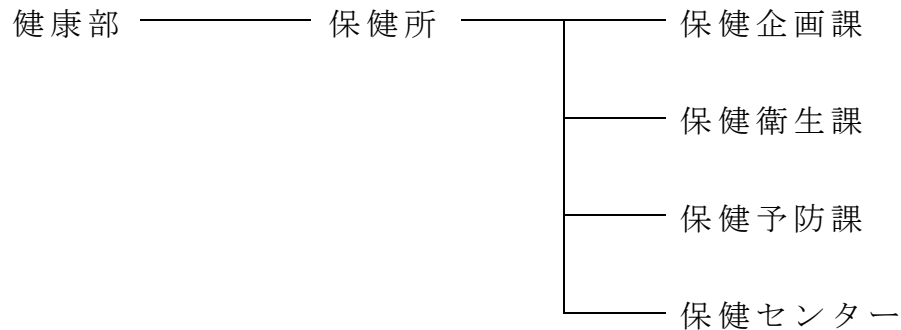
注

- (1) 面積は、令和元年10月1日現在（国土交通省国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」より）。
- (2) 人口（総人口）・世帯数・人口密度は、枚方市は令和2年1月1日現在（「令和元年版枚方市統計書」より）。
大阪府は令和2年1月1日現在（大阪府総務部統計課「大阪府毎月推計人口」より）。
- (3) 医療施設の数値は、平成30年10月1日現在（厚生労働省「医療施設調査（平成30年）」より）。
- (4) 人口動態（自然増加を除く）の数値は、平成30年分（厚生労働省「人口動態統計（平成30年）」より）。
自然増加の数値は、大阪府総務部統計課「令和元年度大阪府統計年鑑」より。
- (5) 各比率については、次の基準を用いて独自に算出している。
 - ※ 医療施設の数値では、基準人口に平成30年10月1日現在総人口（枚方市400,690、大阪府8,824,566）を使用している（「平成30年度大阪府統計年鑑」より）。
 - ※ 人口動態の数値では、基準人口に、枚方市は平成30年10月1日現在総人口（400,690）を使用している（「平成30年度大阪府統計年鑑」より）。また、大阪府は平成30年10月1日現在日本人口（8,639,000）を使用している（「人口動態統計（平成30年）付表」より）。
 - ※ 死産の比率算出に用いた出産数は、出生＋死産の数である。

第4 組織表

1. 組織

(令和2年3月31日現在)



2. 事務分掌

(1) 保健企画課

1. 保健衛生及び地域医療に係る企画及び調整に関すること。
2. 健康危機管理の総括に関すること。
3. 健康増進に関すること。ただし、他の課の所管するものを除く。
4. 特定給食施設等の栄養指導に関すること。
5. 保健衛生に係る調査及び統計に関すること。
6. 医事及び薬事に関すること。
7. 保健所の事務の調整に関すること。
8. 保健所庁舎に関すること。
9. 保健所運営協議会に関すること。

(2) 保健衛生課

1. 食品衛生に関すること。
2. 環境衛生に関すること。
3. 狂犬病予防並びに動物の愛護及び管理に関すること。
4. 衛生上の試験及び検査に関すること。
5. 浄化槽法（昭和58年法律第43号）に基づく浄化槽に係る届出の受付、指導等に関すること。
6. 専用水道及び簡易専用水道等に係る届出の受付及び指導に関すること。
7. 墓地、納骨堂及び火葬場の経営の許可等に関すること。

(3) 保健予防課

1. 感染症の対策及び予防に関すること。
2. 精神保健に関すること。
3. 自殺予防に関すること。
4. 難病の対策等に関すること。
5. 小児慢性特定疾病医療費の支給認定及び指定小児慢性特定疾病医療機関に関すること。
6. 特定不妊治療費及び不育症治療費の助成に関すること。
7. 原子爆弾被爆者の医療等に関すること。
8. 石綿健康被害救済給付の申請の受付に関すること。
9. ウイルス性肝炎等の重症化予防の推進に関すること。
10. 感染症診査協議会、感染症発生動向調査委員会、小児慢性特定疾病審査会及び自殺対策計画審議会に関すること。ただし、他の課の所管するものを除く。

(4) 保健センター

1. 母子保健に関すること。ただし、他の課の所管するものを除く。
2. 予防接種に関すること。
3. 健康診査に関すること。
4. 健康教育及び健康相談に関すること。
5. 訪問指導に関すること。
6. 国民健康保険に係る特定保健指導に関すること。ただし、他の課の所管するものを除く。
7. 介護予防施策の実施に関すること。
8. 身体障害児及び慢性疾患児の療育指導に関すること。
9. 歯科口腔保健に関すること。ただし、他の課の所管するものを除く。
10. 保健センター庁舎に関すること。
11. 健康増進計画審議会及び予防接種健康被害調査会に関すること。

第5 現員表

(令和2年3月31日現在)

区分	職種	保健所	保健 企画課	保健 衛生課	保健 予防課	保健 センター	合計
正職員	医師	1	-	-	-	1	2
	事務職員	-	3	3	6	5	17
	保健師	1	4	-	12	43	60
	看護師	-	-	-	-	1	1
	診療放射線技師	-	1	-	1	-	2
	管理栄養士	-	2	1	-	3	6
	心理相談員	-	-	-	-	4	4
	精神保健福祉士	-	-	-	3	-	3
	社会福祉士	-	-	-	-	-	-
	歯科衛生士	-	1	-	-	1	2
	保育士	-	-	-	-	3	3
	理学療法士	-	-	-	-	2	2
	作業療法士	-	-	-	-	1	1
	獣医師	-	-	8(1)	-	-	8(1)
	検査技師	-	-	-	-	-	-
	化学技術者	-	-	2	-	-	2
	薬剤師	-	4	8(1)	-	-	12(1)
	小計	2	15	22(2)	22	64	125(2)
一般職 非常勤 職員	医療相談専門員	-	-	-	-	-	-
	保健衛生対策 指導員	-	-	1	-	-	1
	保健所難病事務 専門員	-	-	-	1	-	1
	保育士	-	-	-	-	3	3
	精神保健専門員	-	-	-	1	-	1
特別職 非常勤 職員	こころの相談 専門員	-	-	-	1	-	1
	看護師	-	-	-	1	6	7
	心理相談員	-	-	-	-	5	5
	保健師	-	-	-	-	8	8
	管理栄養士	-	-	-	-	7	7
	歯科衛生士	-	-	-	-	7	7
	事務職員	-	-	-	-	13	13
任期付 常勤職員	歯科医師	-	-	-	-	1	1
	保健師	-	-	-	-	1	1
合計		2	15	23(2)	26	115	181(2)

() 内は大阪府からの派遣職員数で内数

第6 施設の概要

(1) 保健所

所在地	大阪府枚方市大垣内町2丁目2番2号
敷地面積	1,849.98 m ²
建築面積	818.27 m ²
延床面積	1,209.98 m ²

2階	遺伝子検査室、感染症食中毒検査室、洗浄滅菌室、食品細菌検査室、理化学検査室、相談室、事務室、所長室
1階	X線室、暗室、操作室、小会議室、診察室1、診察室2、診察室3、事務室、会議室
別棟	犬舎、公用車駐車場

(2) 保健センター

	本館	別館
所在地	大阪府枚方市禁野本町2丁目13番13号	
敷地面積	4,432.65 m ²	
建築面積	1,204.55 m ²	330.50 m ²
延床面積	4,004.30 m ²	970.914 m ²

4階	健康講座室、会議室、三師会控室、北河内夜間救急センター	
3階	相談室1、相談室2、相談室3、計測室、採尿室、検査室、予診室、歯科診察室、健康相談室、栄養相談室、心理相談室、相談室、医師控室、更衣室、診察室、事故予防啓発展示ルーム	親子教室事務室、保育室、相談室
2階	健康増進室、栄養改善指導室、消毒室、事務室、記録保存室	保育室1、保育室2
1階	歯科診療室、三師会控室、公用車駐車場、警備室	駐車場

(3) すこやか健康相談室 北部リーフ

所在地	大阪府枚方市楠葉並木2丁目29番3号（北部支所内）
敷地面積	4,958.84 m ²
建築面積	793.04 m ²
延床面積	84.18 m ²

2階	相談室2
1階	事務室、相談室1、授乳室

第7 事務事業の概要

保健所は、地域保健法に基づき、（1）健康なまちづくりの推進のため、妊娠・出産から子育て期、さらには成人・高齢期まで切れ目なく、全ての市民の健康づくりに関わる業務を保健センターと一体的に取り組むとともに、（2）医事・薬事、食品衛生、環境衛生、感染症予防、精神保健、難病支援等のさまざまな公衆衛生に関わる専門的かつ技術的拠点としての業務を担っている。

第5次枚方市総合計画に掲げる「公衆衛生や健康危機管理が充実したまち」の実現に向け、市域の保健衛生行政の中核となり、市民の健康増進と生活の安全・安心の確保に努め、総合的な保健衛生サービスを推進することにより、市民の健康寿命の延伸をめざしている。

I 令和元年度の主要施策

1. 保健企画課

（1）保健所運営協議会の開催

令和元年7月16日に令和元年度枚方市保健所運営協議会を開催し、保健所の重点施策として「受動喫煙防止についての取組み（たばこ対策推進事業）」「枚方市いのちを支える行動計画 自殺対策計画」の推進について「地域の健康を支える「すこやか健康相談室」について」について説明し、保健所の運営に関する意見交換を行った。

（2）ヘルシーメニューを通じた健康づくりの推進

食を取り巻く環境の改善が食生活面からの個人の健康づくりにつながることから、飲食店に対しての啓発と市民の健康づくりを目的として、「ひらかた健康3ツ星レストラン」と称し市内飲食店19店とともに、市独自の基準を満たすヘルシーメニューの開発を行った。延べ約1,911人の利用があった。

（3）地域保健と職域保健の連携の推進

企業が行う社員の健康づくりを直接的に支援できる制度として、平成28年7月に「ひらかた健康優良企業」を開始し、令和元年度末までに41社の登録があった。支援内容は、健康に関する情報提供として「保健所つうしん〈企業版〉」を発行し各社に配付するとともに、希望のあった企業に対して健康教育及び個別相談を実施した。

さらに、働く世代への健康づくりを目的として、北大阪商工会議所が行う定期健康診断、協会けんぽが行う扶養家族の特定健診、全国健康増進協議会の家族健診及び公衆衛生協力会が行う肺がん検診に参画し、生活習慣病予防等の啓発や健康相談を実施した。

（4）医薬品の適正使用の啓発

職員による出前講座「薬の正しい使い方について」を通じて4回、地域に出向いた。薬の正しい飲み方や保管方法、かかりつけ薬剤師・薬局の利用促進、健康サポート薬局の紹介、後発医薬品の利用促進、医薬品副作用被害救済制度の周知等、医薬品の適正使用に関する啓発を行った。

(5) 薬物乱用防止の啓発

市内全小学6年生に本市オリジナルの啓発用リーフレットを配付した。

令和元年10月8日に枚方市薬物乱用防止連絡会を開催し、市内で薬物乱用防止教育に取り組む関係機関と情報共有や意見交換を行った。また、薬物乱用防止教室の講師の育成と資質向上を目的として、枚方市薬物乱用防止連絡会会員を対象としたスキルアップ講習会や薬物乱用防止教室の見学会及び意見交換会を実施した。

さらに、市民に覚せい剤や大麻等の危険性をより知ってもらうとともに、薬物乱用防止の意識を高めることを目的に、令和元年10月29日、京阪枚方市駅コンコースにおいて街頭キャンペーンを実施した。実施にあたっては、大阪府枚方警察署、大阪府交野警察署、枚方少年サポートセンター、本市学校薬剤師会、枚方市保健所公衆衛生協力会、社会を明るくする運動関係団体の協力を得ながら、通行する約1,500人の市民等にリーフレット及び啓発物品を配布した。

(6) 健康・医療に関する電話相談事業

市民の健康・医療に対する安全・安心を確保するとともに、多様化・高度化する市民のニーズに随時対応するため、医師・保健師・看護師等の専門職が24時間365日体制で対応する健康・医療に関する電話相談窓口として、「ひらかた健康ほっとライン24」を平成28年7月1日から開設し、令和元年度は、延べ約22,000件の相談を受けた。

なお、保健所への直接相談（開庁時間内）は、電話・メール298件、来所21件に対応した。

2. 保健衛生課

(1) 食品衛生関係施設の衛生管理指導の実施

「平成31年度枚方市食品衛生監視指導計画」に基づき、食品製造施設、集団給食施設、食品量販店等の食品関係施設に規格基準の遵守及び適正表示等の監視指導並びに収去検査を実施した。また、食品衛生法が改正され順次施行されることから、食品等事業者に対してHACCP（ハサップ）に沿った衛生管理の手法等、新たな基準の普及及び導入支援を行った。市民に対しては食中毒予防キャンペーンの実施及び広報ひらかたへの記事掲載等により、食品衛生に関する正しい知識を普及・啓発した。

さらに、食品に関するさまざまな相談・苦情に対して調査・指導し、食品に起因する衛生上の危害の発生防止に努めた。

(2) 環境衛生関係施設の衛生管理指導の実施

関係法規等に基づき、理・美容所、クリーニング所、旅館、公衆浴場、興行場の生活衛生施設、住宅宿泊事業の届出住宅、専用水道や簡易専用水道等の水道施設、生活排水処理施設の浄化槽、特定建築物、プール等、環境衛生関係施設への立入検査を行い、構造設備や衛生基準の遵守について指導を実施した。

令和元年度は、特にレジオネラ感染症発生の未然防止のため、浴場の浴槽水やプールの採暖槽水のレジオネラ属菌検査を全施設で実施したところ、6施設で基準不適合であったため、循環ろ過配管の洗浄消毒等の実施を指導し、再検査により基準適合を確認した。

また、新型コロナウイルス感染症対応として、国からの通知等を踏まえ、旅館営業者、住宅宿泊事業者に対し、衛生管理の徹底、患者発生時の対応等について周知した。

(3) 試験検査業務の実施

感染症患者発生時や食中毒疑い事例発生時の原因究明及び拡大防止のため、赤痢菌・腸管出血性大腸菌O157・カンピロバクター属菌・ノロウイルス等の検査を実施した。環境衛生関連では、レジオネラ属菌等の水質検査及び乳幼児用衣類のホルムアルデヒド検査を実施した。また、食品衛生法に基づき、収去した食品について細菌検査を実施した。

すべての検査は標準作業書に則って作業した。また、外部・内部精度管理を実施し精度の確保に努めるとともに、検査業務の内部点検を受け、信頼性の確保に努めた。

(4) 狂犬病予防及び動物愛護管理に関する事業

狂犬病予防法と動物の愛護及び管理に関する法律に基づき、犬の捕獲及び犬猫の引取りを実施した。また、殺処分の減少をめざして犬猫の適正飼養啓発のためのイベントや譲渡を実施した。

さらに、近年増加している野良猫による生活環境への被害防止対策として、適正飼養及び猫よけ対策の周知、不適切な餌やりを行っている者へのマナー啓発・助言を行うとともに、市民への超音波発生装置や野良猫の避妊去勢手術目的での捕獲器の貸出し及び猫の不妊手術費補助金の交付を行った。

(5) 犬の登録と狂犬病予防注射接種率の向上

狂犬病予防法に基づく犬の登録（鑑札の交付）及び予防注射済票の交付事務を行うとともに、予防接種の促進に取り組んでいる。市内48会場において集合注射事業を実施するとともに、市内の動物病院でも鑑札及び注射済票の交付を受けられるよう、17か所の動物病院で登録と注射済票の交付事務の業務委託を行った。また、未接種の飼い主には接種を促す通知をして接種率向上に努めた。

3. 保健予防課

(1) 感染症対策

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（以下「感染症法」）に基づき、厚生労働省や大阪府、関係機関との連携の下、予防啓発から発生動向の把握、積極的疫学調査等に例年取り組み、感染症のまん延防止に努めている。

G20大阪サミット、ラグビーワールドカップの開催にあたり、海外由来の感染症に備え、大阪府下の強化サーベイランス（発生動向調査）の準備を行い実施した。

継続課題である高齢者の結核については、市内結核の発生状況等の情報提供と注意喚起を目的とした「感染症タイムズ」を市内医療機関や市医師会等へ発行し、高齢者の結核の早期発見に向け、結核を意識した診療の啓発を行った。市民向けの啓発として、庁内関係課と連携し、高齢者に関係する窓口でのポスター掲示や啓発マスクの配付、高齢者向けイベントでの啓発等を実施した。

デング熱が東南アジアで流行し、帰国後、発症する患者の報告数の増加があった。枚方市でも4件の報告があり、医療機関に向けて届出に関する周知・啓発を行った。

新型コロナウイルス感染症については、厚生労働省より令和2年1月28日に「新型コロナウイルス感染症を指定感染症として定める等の政令」が公布され、2月1日に指定感染症となった。また、3月11日にはWHO（世界保健機関）が新型コロナウイルス感染症の「パンデミック宣言」を表明した。枚方市では、1月30日に枚方市新型コロナウイルス関連肺炎に伴う危機管理緊急対策本部を設置し、1月31日に新型コロナウイルス対策本部へ移行した。

保健予防課では、1月当初から市民、市内医療機関、商業施設等へ注意喚起を行うとともに、大阪府、府内政令・中核市、市医師会、市病院協会等と連携し、感染が疑われる人への行政検査の実施、感染者の早期発見に努めた。また、感染した患者の入院搬送について、枚方寝屋川消防組合と協力体制を再確認し、体制整備に努めた。感染源探求・感染拡大防止のために患者の行動や接触者の調査を含む積極的疫学調査を行い、患者の療養支援や把握した接触者の健康観察、電話等での24時間相談対応、行政検査の実施等を行った。また、各検疫所からの依頼を受け、海外帰国者の健康観察を毎日実施した。行政検査の実施件数や患者状況を厚生労働省・大阪府へ毎日報告し、各種通知等の窓口として、市対策本部、市内関係機関へ情報提供を行い、情報共有を図った。次年度も切れ目なく対策を継続している。

(2) 精神保健業務

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律に基づき、相談業務や普及啓発等を実施した。精神保健相談では、緊急を要する相談等が多く、迅速かつ適切な対応を行った。また、精神科医による相談を実施し、精神科医療未受診者や中断者の面接や訪問、家族や本人、関係機関職員の相談等に応じた。

精神障害者の退院後の支援について、各自治体が中心となって積極的に退院後支援を進められるよう具体的な手順を示すものとして「地方公共団体による精神障害者の退院後支援に関するガイドライン」が厚生労働省により取りまとめられた。平成30年度より、本ガイドラインに基づき、精神障害者が退院後にどの地域で生活することになっても、医療・福祉・介護・就労支援などの包括的な支援を継続的かつ確実に受けられることを目的として、支援計画を策定し関係機関と連携し支援を実施した。

(3) 難病対策事業

平成27年1月施行の「難病患者に対する医療等に関する法律」により、特定医療費（指定難病）の対象疾病が306疾病になり、さらに令和元年度には333疾病まで拡大された。支給認定申請者数の増加に伴い、円滑な申請受付・大阪府への経由事務に努めた。また、新規及び更新申請者については、保健師が面接等を実施し療養状況の把握を行うとともに、支援の必要な難病患者家族に対して、保健師や専門医療職による訪問相談等を実施し個別支援の充実に努めた。さらに、医療講演会、患者家族交流会を実施し、在宅難病患者の社会参加、QOL（生活の質）の向上、セルフケア能力の向上を図った。特に難病患者の治療と仕事の両立に向けて、更新申請時に就労についてのアンケート調査を行い、難病患者の就労についての現状を把握したほか、不定期で就労相談の開催を行った。

健康医療都市ひらかたコンソーシアム連携事業「枚方市難病対策分野神経難病対策医療ネットワーク部会」の取り組みとして、難病患者の在宅医療の推進のため、構成団体と連携し、在宅医療研修会等を実施した。

災害対策として、更新申請時に来所された指定難病患者に対し、災害の手引きのリーフレットの配付と防災についての健康教育の実施、障害福祉担当部署と合同で人工呼吸器装着者の把握調査を行った。

(4) 特定不妊治療費助成及び不育症治療費助成

体外受精、顕微授精及び男性不妊治療を受けた市民、並びに不育症の検査及び治療を受けた市民の申請者へ治療費の助成を行った。

また、広報やFMひらかたを活用し、制度の案内や申請期限の周知を図った。

(5) 小児慢性特定疾病医療費助成

小児慢性特定疾病の対象疾病が、令和元年7月から6疾病が追加され762疾病となった。

医療機関等の申請に基づき、指定医療機関及び指定医の指定手続きを実施するとともに、小児慢性特定疾病対策審査会を月1回開催して、支給認定審査を実施し、承認を得た者に対して医療受給者証の発行を行った。医療費助成が切れ目なく受けられるよう、受給者全員に対して更新申請案内、20歳に到達する受給者には指定難病医療費助成制度の案内を行った。

また、医療費支給認定申請書受付時には、疾病や療養状況等により保健師が面接を行い、保健センターと連携し支援に繋げた。

(6) 自殺予防対策事業

平成31年3月に策定した「枚方市いのち支える行動計画（自殺対策計画）」に基づき、自殺対策ネットワーク会議を開催し、庁内各課の職員を対象としたゲートキーパー養成研修を実施したほか、電話相談事業（ひらかた いのちのホットライン）や人材育成事業として電話相談員対象のフォローアップ事業、普及啓発事業としてリーフレットの配布や啓発キャンペーンを実施した。

4. 保健センター

(1) 成人保健事業等の推進

がん対策事業については、受診率向上や知識の普及のために乳がん検診、子宮頸がん検診及び大腸がん検診について特定の年齢に達した対象者に対して検診手帳及び検診無料クーポン券を送付する「がん検診推進事業」、肝炎ウイルス検診の無料受診券の送付を継続実施した。各がん検診の精度管理に注力し、関係機関との連携を図りながら事業を進めた。

(2) 母子保健事業の推進

妊娠・出産から子育て期までの切れ目ない支援をめざして、妊娠届出時の状況や医療機関等との連携のもと、出産後の養育について支援の必要な妊産婦を早期に把握し、支援につなげることで育児不安の解消や児童虐待予防の強化に努めている。また、妊娠の届出に來所した全妊婦に対し保健師等が面接相談を行い、妊娠・出産・子育てに関する保健指導及び情報提供を行っている。また、聴覚障害を早期に発見し、適切な支援及び早期療育につなげるため、新生児聴覚検査の費用助成を実施した。

乳幼児健康診査未受診児に対しては、健診案内の再送付等で受診勧奨を行い、さらに、未受診の場合には家庭訪問等により全数把握に努めている。

(3) 予防接種事業

感染症の発生及び蔓延を予防するため、予防接種法に基づく各種予防接種を実施している。

風しんの感染予防及び蔓延防止、さらに新生児を「先天性風しん症候群」から守ることを目的に、平成26年度から5か年計画で実施してきた緊急風しん対策（妊娠を希望する女性と配偶者、妊婦の配偶者に対する抗体検査及び風しん等予防接種費用助成事業）を3年間の予定で引き続き実施した。また、今般の風しん流行を鑑み、風しん追加的対策事業として昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生の男性に対し、抗体検査を実施し、抗体を持たない者に対する定期の風しん第5期予防接種を3か年計画で開始した。

平成26年10月から定期高齢者肺炎球菌予防接種事業を補完する目的で実施している高齢者肺炎球菌

ワクチン接種の一部助成や、平成26年度から5年間の経過措置で5歳毎の未接種者に実施してきた定期高齢者肺炎球菌予防接種を、令和元年度も延長し実施した。

平成28年度から市単独事業として創設した「定期接種で得た免疫を、治療により失った人への再接種費用の助成制度」については、造血幹細胞移植後の再接種に限り平成30年から大阪府の補助金の対象となった。

(4) 健康づくりの取り組み

いつまでも健康でいきいきと暮らすことができるまちの実現に向け、「第2次枚方市健康増進計画」に基づき、市民の健康づくりの取り組みを支援するため、各種健康教育や健康相談などの取り組みを行っている。この計画の中間評価から見えてきた課題への取り組みとして、様々な機会を捉えて適正体重の周知に注力している。京阪ホールディングス株式会社と、ひらかたカラダづくりトライアル事業に取り組み、ひらかた八景コースを紹介する「山田池再発見ウォーク」を実施した。この取り組みに、令和元年度は新たに市内の大学等の協力を得て、健康づくりの啓発を行った。

平成28年4月から、保健センター内に枚方市口腔保健支援センターを設置し、「枚方市歯科口腔保健計画」に基づき、歯科口腔保健の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進している。「枚方市歯科口腔保健計画」の中間評価から見えてきた課題への取り組みとして、仕上げ磨きに関する啓発資料の作成、幼稚園・保育所への妊産婦歯科健診の周知チラシの設置をし、啓発を行った。

歯科口腔保健医療サービスを受ける事が困難な者の口腔の健康を保持増進させる観点から、歯科口腔保健医療に携わる専門職に対し障害者（児）の特性や様々な状況に応じた知識を得るための講座の開催及び歯科医療技術者の養成を目的とした障害者（児）歯科医療技術者養成事業に取り組んだ。

(5) 地域拠点整備事業

妊娠・出産から子育て期、さらには成人・高齢期まで切れ目のない支援を提供し、より身近な地域で、健康や子育てに関する相談・支援を行う地域拠点「すこやか健康相談室 北部リーフ」を、平成29年12月から北部支所内に開設した。

「北部リーフ」では、保健師が常駐し妊娠届出時の面接や来所による健康相談等を行い、家庭訪問や地域に出向いての出前健康講座や出前健康相談を実施するなど、市民の健康を支える地域の拠点として、地区担当保健師による地域活動を展開している。

なお、「すこやか健康相談室」は、国が法定化した「子育て世代包括支援センター」としても位置づけている。

Ⅱ 保健企画課事務概要

1. 総務企画関係（根拠法令 地域保健法、健康増進法等）

(1) 保健所運営協議会

①概要

保健所運営協議会は、地域保健法に基づき、市長の附属機関として条例により設置され、市長の諮問に応じて、管内の地域保健及び保健所運営に関して調査審議することを目的としている。

②枚方市保健所運営協議会委員名簿（50音順・令和元年7月16日現在）

	氏名	所属／役職等
会長	藤本 良知	枚方市医師会 会長
副会長	北川 敏夫	枚方市歯科医師会 会長
	岩瀬 敦彦	枚方市薬剤師会 会長
委員	岩田 和彦	大阪精神医療センター 院長
	岩村 みち子	枚方市健康づくり食生活改善協議会 会長
	太田 壮一	摂南大学薬学部 教授
	交久瀬 善浩	枚方市学校保健会 理事
	神田 哲郎	北大阪労働基準監督署 署長
	澤田 敏	関西医科大学附属病院 病院長
	清水 久司	大阪府枚方警察署 署長
	武 正行	枚方市社会福祉協議会 会長
	田中 昌博	大阪歯科大学 教授
	田之上 和子	大阪府助産師会 枚方班 班長
	鳴井 美智子	国際ソロプチミスト枚方-中央 理事
	西山 利正	関西医科大学 教授
	野原 隆司	枚方公済病院 院長
	畑 和美	北大阪商工会議所 枚方市地域活性化支援センター管理部部長
	東口 敏巳	枚方寝屋川消防組合 消防本部 消防長
	増山 理	星ヶ丘医療センター 院長
	三窪 ゆり	大阪府交野警察署 署長
	宮原 保子	枚方市民生委員児童委員協議会 会長
	渡邊 幹男	枚方市保健所公衆衛生協力会 会長

③開催状況

開催年月日	出席委員数	会 議 内 容
令和元年7月16日	18	○平成30年度の取組みについて（報告） ○今後の重点施策について ・受動喫煙防止についての取組み（たばこ対策推進事業） ・「枚方市いのち支える行動計画 自殺対策計画」の推進について ・地域の健康を支える「すこやか健康相談室」について

(2) 北河内医療・病床懇話会

大阪府地域保健医療推進懇話会設置要綱に基づき設置される北河内医療・病床懇話会は、地域医療構想に基づき、2025年の医療需要と目指すべき医療提供体制を実現するための施策について、保健医療関係者が意見交換、懇談等を実施している。平成30年度は、大阪府四條畷保健所と枚方市保健所が共同で事務局を担っていたが、令和元年度より大阪府四條畷保健所が単独で事務局を担うこととなった。

(3) 精神医療懇話会

①概要

大阪府地域保健医療推進懇話会設置要綱に基づき設置される精神医療懇話会は、国が平成29年3月末に定めた「精神疾患の医療体制の構築に係る指針」に基づいて設置され、多様な精神疾患ごとに必要となる医療機能の明確化、地域の医療機関の役割の明確化、医療連携体制の推進を目的として、圏域ごとの精神医療体制について精神医療・精神保健関係者が意見交換、懇談会を実施している。平成30年度は大阪府守口保健所が事務局を担い、令和元年度より枚方市保健所にて事務局を担うこととなった。

②精神医療懇話会委員名簿（令和2年3月31日現在）

	氏名	所属／役職等
会長	長尾 喜一郎	ねや川サナトリウム 院長
委員	岩田 和彦	大阪精神医療センター 院長
	栗岡 政典	阪奈サナトリウム 院長
	西浦 啓之	京阪病院 院長
	釘抜 利明	くぎぬき医院 院長
	田川 精二	田川くすの木クリニック 院長
	木下 利彦	関西医科大学総合医療センター 精神神経科 教授
	中森 靖	関西医科大学総合医療センター 救急救命センター 教授
	宮崎 悦子	寝屋川市医師会 理事
	平沼 憲一	交野市歯科医師会 会長
	寒川 慶一	寝屋川市薬剤師会 会長
	高田 育子	門真市保健福祉部 健康増進課長
	加角 晃子	大東市保健医療部 次長兼地域保健課長

③開催状況

開催年月日	出席委員数	会議内容
令和元年11月25日	11	・北河内二次医療圏の概要について ・地域における妊産婦メンタルヘルスの支援について ・地域における精神科合併症の医療連携体制について

(4) 北河内歯科保健懇話会

①概要

大阪府地域保健医療推進懇話会設置要綱に基づき設置される北河内歯科保健懇話会は、大阪府の委託を受け、本市が事務局を担っている。本懇話会は、歯科保健分野について保健医療関係者が意見交換、懇談等を行い、地域保健医療の推進・向上を図ることを目的としている。

②北河内歯科保健懇話会委員名簿（令和2年3月31日現在）

	氏名	所属／役職等
会長	北川 敏夫	枚方市歯科医師会 会長
委員	中川 猛	寝屋川市歯科医師会 会長
	村橋 慶宣	守口市歯科医師会 会長
	滝川 博嗣	門真市歯科医師会 会長
	新井 敏之	大東・四條畷歯科医師会 会長
	平沼 憲一	交野市歯科医師会 会長
	香川 英生	寝屋川市医師会 副会長
	岩瀬 敦彦	枚方市薬剤師会 会長
	小谷 泰子	大阪府歯科医師会 理事
	高田 育子	門真市健康増進課 課長
	河田 典子	枚方市健康総務課 課長

③開催状況

開催年月日	出席委員数	会議内容
令和元年12月12日	10	・北河内圏域における歯科口腔保健の取組について ・障害児者の歯科医療について ・医科歯科連携について

(5) 北河内圏域における糖尿病の医療ネットワーク会議

①概要

大阪府保健医療計画に基づき、がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病に関する切れ目のない医療の提供を実現し、良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を図ることを目的に、北河内圏域では疾病ごとにネットワーク会議を開催している。

令和元年度は、糖尿病の合併症及び重症化予防の理解を深め、地域医療連携体制の充実を図るために医療従事者向けの研修会を開催した。また、圏域の医師会、歯科医師会、薬剤師会を通して各会員へ糖尿病連携手帳（日本糖尿病協会発行）の周知を図るためのポスターを配布した。

②開催状況

開催年月日	出席委員数	会議内容
令和2年2月28日	12	・糖尿病連携手帳の普及等にかかる取組みについて ①今年度の取組み ②糖尿病連携手帳の効果的な普及方法について ・糖尿病の重症化予防について

③研修会

開催年月日	出席数	研修会内容
令和元年12月7日	75	・大阪府における糖尿病対策の取組みについて 報告者：大阪府健康医療部健康推進室健康づくり課 ・講演「糖尿病と合併症」 講師：片瀬医院 院長 関西医科大学附属病院 糖尿病科 非常勤 田代 香織氏 ・講演「糖尿病と歯周病」 講師：大阪歯科大学 歯周病学講座 主任教授 梅田 誠氏

(6) 枚方市保健所・枚方市内高等学校等連絡会

①概要

思春期保健について、保健所と市内高等学校等（11校）の連携により、保健所における地域保健と高等学校等における学校保健の課題を共有し、それぞれの健康増進施策の推進を図ることを目的に設置している。また、年1回市内中学校と合同研修・協議の場を設けている。

②開催状況

開催年月日	参加人数	会議内容
令和元年12月18日	23	・講義 「子どもたちの健康への影響～子どもの禁煙外来の立場から～電子タバコ・加熱式タバコから禁煙支援まで～」 講師：京都大学大学院医学研究科・社会健康医学専攻 特任教授 高橋 裕子氏 ・市内高等学校等と市立中学校との協議・研修 「健康教育の現状と課題～たばこ、薬物、医薬品を中心に～」
令和2年2月17日	5	・市からの情報提供（子ども総合相談センター） 「枚方市児童虐待防止ハンドブックの概要について」 ・学校保健関係の情報交換

(7) 枚方市訪問看護ステーション連絡会

①概要

訪問看護に関する取り組みについて、関係機関相互の連携及びネットワーク化の推進を目的に、実務者による勉強会や意見交換を行っている。

②構成員

枚方市医師会、市内訪問看護ステーション、市内病院の医療連携室、枚方市（長寿社会部、保健センター、保健所）

③開催回数

5回

(8) 地域保健医療問題懇談会

①概要

枚方市医師会、枚方市歯科医師会、枚方市薬剤師会及び枚方市が連携し、業務内容、将来の動向及び地域保健サービスのあり方等について意見交換し、相互理解を深めることを目的に開催している。

令和元年度は「受動喫煙防止対策」を通年のテーマとして開催した。

②開催状況

開催年月日	当番機関	テーマ
令和元年5月30日	枚方市	「改正健康増進法・大阪府受動喫煙防止条例について」 「改正健康増進法 受動喫煙防止にむけて」
令和元年8月22日	医師会	「健康増進法の一部を改正する法律に係る受動喫煙防止対策アンケートについて」 「禁煙外来 14年間 950人と向き合って」
令和元年11月28日	歯科医師会	「喫煙と口腔の関係について」
令和2年2月27日	薬剤師会	「メディアが伝えない！新型たばこのリスク」 「薬剤師による禁煙の取り組み」

(9) 実習生受入に関する事務および学習指導

①目的

臨床研修医、医師、保健師、看護師、管理栄養士、歯科衛生士及び精神保健福祉士等の養成課程（主に学生）の実習を受け入れ、指導を行うことにより、講義で学んだ知識や技術の習得・向上を図る場を提供するとともに、将来の公衆衛生行政を担う人材の育成を図る。

②内容

区分	施設名	期間	日数	人員	指導内容
医師	関西医科大学	7/16～7/19	4	3	公衆衛生
		7/16～7/26	9	1	
		8/19～8/30	10	2	
	関西医科大学附属病院	10/1～10/31	21	1	
	大阪大学	6/20～10/24	21	2	
保健師	藍野大学短期大学部	6/24～6/28、9/24～10/15	15	5	地域看護
	森ノ宮医療大学	8/5～9/4	15	5	
	大阪医専	11/1～11/6	3	7	
助産師	愛仁会看護助産専門学校	1/20～1/24	4	4	地域看護
歯科衛生士	大阪歯科大学	6/20、7/2、7/9、7/11、7/23、7/25	6	4	口腔衛生
管理栄養士	関西福祉科学大学	8/19～8/23	5	7	公衆栄養
		8/19、9/10～9/13	5	7	
		8/19、9/17～9/20	5	7	

(10) 統計事務

名称	時期	対象	件数	調査員数
国民生活基礎調査（世帯票）	4～6月	平成27年国勢調査区から層化無作為抽出された地区内のすべての世帯及び世帯員	8地区 466世帯	5
人口動態調査 ※	通年	枚方市の戸籍担当課から提出された調査票	出生票 2,706 件 死亡票 3,867 件 死産票 60 件 婚姻票 1,562 件 離婚票 640 件	-
国民健康・栄養調査	11月	令和元年国民生活基礎調査地区より設定された単位区により無作為抽出された地区内の世帯員	1地区 4世帯	6

※人口動態調査件数は、大阪府に送付した調査票のうち平成31年1月分から12月分までの合計数

(11) 住民栄養指導

①個別指導

区分	人数
一般	6
生活習慣病	2
その他	3
合計	11

②集団指導

対象区分	内容	回数	人数
児童生徒期	P T A給食委員会「朝食の大切さを知ろう！」	1	50
青年期	健康フェア（大阪工業大学枚方キャンパス）朝食摂取の啓発	1	65
	健康フェア（摂南大学枚方キャンパス）朝食摂取の啓発	1	85
	健康フェア（大阪歯科大学楠葉キャンパス）朝食摂取の啓発	1	52
合計		4	252

(12) 特定給食施設等指導

①概要

特定多数の者に対して継続的に食事を提供する施設（1回100食以上又は1日250食以上の食事を供給する施設を「特定給食施設」という。特定給食施設以外の給食施設を「その他の給食施設」及び「小規模給食施設」とする。）に対して、健康増進法に基づき、施設管理者および給食関係者等に栄養改善の見地から必要な指導を行い、給食内容の向上を図るとともに、喫食者に対しても給食を通じた健康づくりを推進する。

②個別指導

ア 実施状況

		栄養士のいる施設		栄養士のいない施設		合計	
		施設数	指導数	施設数	指導数	施設数	指導数
特定給食施設	学校	36	-	20	-	56	-
	病院	18	18	-	-	18	18
	介護老人保健施設	8	-	-	-	8	-
	老人福祉施設	14	6	-	-	14	6
	児童福祉施設	35	-	14	-	49	-
	社会福祉施設	1	-	-	-	1	-
	事業所	6	-	11	-	17	-
	寄宿舍	-	-	-	-	-	-
	矯正施設	-	-	-	-	-	-
	自衛隊	-	-	-	-	-	-
	一般給食センター	1	-	-	-	1	-
	その他	2	-	1	-	3	-
	小計	121	24	46	-	167	24
その他の給食施設	学校	-	-	1	-	1	-
	病院	7	7	-	-	7	7
	介護老人保健施設	-	-	-	-	-	-
	老人福祉施設	13	5	1	-	14	5
	児童福祉施設	2	-	3	-	5	-
	社会福祉施設	1	-	-	-	1	-
	事業所	-	-	11	-	11	-
	寄宿舍	-	-	-	-	-	-
	矯正施設	-	-	-	-	-	-
	自衛隊	-	-	-	-	-	-
	一般給食センター	-	-	-	-	-	-
	その他	6	-	4	-	10	-
	小計	29	12	20	-	49	12
小規模給食施設		7	-	10	-	17	-
合計		157	36	76	-	233	36

※寄宿舍、矯正施設、自衛隊は対象施設なし

③管理栄養士必置特定給食施設指定数

	学校	病院	事業所	合計
厚生労働大臣の指定 基準該当施設数	3	8	3	14

④集団指導

ア 市単独実施分

名称	主な内容	回数	施設数	人数
食中毒予防に関する 研修会	・講演 「特定給食施設等における食品衛生管理について～食中毒予防のポイントと HACCP～」	1	74	89

イ 大阪府・政令指定都市・中核市等の合同実施分（数は枚方市保健所管内分）

名称	主な内容	回数	施設数	人数
特定給食講演会Ⅰ	・講演 「高血圧治療ガイドライン 2019 に基づく栄養管理」 ・講演 「施設における栄養管理～日本人の食事摂取基準 2020 年版の活用～」 ・情報提供	1	38	40
特定給食講演会Ⅱ	・講演 「こどもの心と体の成長・発達によい食事」 ・講演 「施設における栄養管理～日本人の食事摂取基準 2020 年版の活用～」 ・情報提供	1	31	35

⑤特定（集団）給食連絡会への参加

名称	主な内容	回数	延施設数
北河内保健所管内病院栄養士会	事例報告・講演・情報交換等	3	34
福祉施設給食連絡会	事例報告・講演・情報交換等	1	8
北河内地区障がい者（児）関係施設給食連絡会	事例報告・施設見学・情報交換等	2	3
合計		6	45

(13) 食環境づくり推進事業

①「うちのお店も健康づくり応援団」（大阪府・政令指定都市・中核市等の合同実施分。数は枚方市保健所管内分）

ア 概要

生活習慣病予防の一次予防に重点をおいた運動の一環として、食を取り巻く環境づくりを整備するため、飲食店やスーパーマーケットやコンビニエンスストア等を介し、受動喫煙防止対策等も含めた多様な健康づくりの推進を図る。

イ 個別指導

	店舗数
健康づくり協力店「うちのお店も健康づくり応援団」新規承認店舗数	5
承認店舗数	263
ヘルシーメニューコンテスト応募店舗数（メニュー数）	1(1)

②「ひらかた健康3ツ星レストラン」

ア 概要

市内飲食店でヘルシーメニューを普及させ、食環境の改善を図ることで市民の健康づくりを推進することを目的に、市内飲食店と共同で市独自基準に基づくヘルシーメニューを開発し、市民への提供を行った。

イ 実施内容

	件数
協力店舗数	19
利用食数（提供期間：9月～12月）	1,911

(14) 食品表示基準制度等相談

	件数
相談	27

(15) たばこ対策推進事業

①喫煙防止・受動喫煙対策

		対象	回数	延人数または 延参加機関数	主な内容
喫煙防止教育支援	喫煙防止教育の推進（情報提供等）	教職員	6	6機関	喫煙防止教育に関する情報提供・媒体や資料の提供
		病院	1	1機関	
		薬局・薬物乱用防止指導員	2	2機関	
	喫煙防止教育の推進（研修会）	養護教諭、保健主事（市立中学校及び市内高等学校等）	1	23人	喫煙防止教育に関する情報提供・媒体や資料の提供
受動喫煙防止対策		医療機関		25施設	医療機関分煙、禁煙実施状況調査
		職域保健	19	2,520人	北大阪商工会議所、協会けんぽ、全国健康増進協議会が実施する健（検）診の場において、たばこの害や受動喫煙の害、禁煙に関する情報提供・相談を実施 喫煙状況等に関するアンケート調査を実施

②禁煙支援強化事業（禁煙サポート機関ガイド）

枚方市医師会、枚方市歯科医師会、枚方市薬剤師会と共同で、禁煙治療や支援を行っている機関及び医療機関の禁煙化状況等についてアンケート調査を実施した。アンケート結果を基に「禁煙サポート機関ガイド」を作成し、禁煙支援を行う関係機関に配布した。

③各種啓発

5～6月の「世界禁煙デー」、「禁煙週間」や11月の「世界COPDデー」に保健所にて、たばこや受動喫煙の害、禁煙に関する情報等を展示。大学（大阪工業大学・摂南大学枚方キャンパス、大阪歯科大学）における健康フェアや、健康医療福祉フェスティバルにおいても啓発を行った。

また、10月にコンソーシアム連携推進事業として、枚方市市病院協会、枚方市医師会、枚方市歯科医師会、枚方市薬剤師会と連携し受動喫煙のない枚方市を目指すためのシンポジウムを開催した。

(16) 地域保健と職域保健の連携の推進

①概要

地域保健と職域保健が連携することで、自治体、事業者及び医療保険者等の関係者が相互に情報交換を行い、保健事業に関する共通理解のもと、それぞれが有する保健医療資源を相互活用、または保健事業の共同実施等により連携体制を構築し、働く世代の健康づくりを継続的に支援していく。

②啓発・相談

対象	回数	受診者数	内容
北大阪商工会議所が実施する定期健康診断の受診者	5	690	それぞれの健（検）診の場へ保健師や管理栄養士が出向き、生活習慣病やがん検診等の啓発を行った。喫煙者のうち希望者には、呼気一酸化炭素濃度測定を行い、禁煙に関する情報提供を行った。また、北大阪商工会議所が実施する定期健康診断、協会けんぽが実施する扶養家族への特定健診、全国健康増進協議会の家族健診の受診者の健康状態の把握や啓発のためにアンケート調査等を行った。
協会けんぽ大阪支部が実施する扶養家族への特定健康診査の受診者	3	834	
枚方市保健所公衆衛生協力会が実施する肺がん検診の受診者※	-	-	
全国健康増進協議会が実施する家族健診の受診者	11	996	

※巡回検診中止のため実施なし

③ひらかた健康優良企業

ア 内容

企業の方針のもと従業員の健康づくりに積極的に取り組むことは、従業員の活力向上や生産性の向上等、組織全体の活性化をもたらすとともに、企業の業績向上やイメージアップにつながると期待されている。そこで、従業員の健康づくりに取り組む企業を「ひらかた健康優良企業」として登録する制度を設けた。登録した企業に対しては、登録証を発行し、様々な健康情報の発信や健康教育の実施等の直接的な支援を行う。

イ 登録企業（令和2年3月31日現在）

業種	企業数	従業員数
製造業	13	3,806
建設業	3	59
情報通信業	1	15
卸売・小売業	5	497
金融・保険業	6	1,760
医療・福祉関係	7	376
サービス業	2	31
教育・学習支援業	2	420
公務	2	3,715
合計	41	10,679

※従業員数は最新の実績報告書及び申請書より算出

ウ 依頼のあった企業に対して実施した健康教育

実施月	参加人数	テーマ
7月	24	女性のがん
7月	33	歯周疾患について（簡易潜血検査及び個別相談同時開催）
7月	9	腰痛予防ストレッチ
9月	20	女性のがん
11月	33	腰痛予防ストレッチ
11月	8	歯と口の健康

※令和2年2月以降の依頼については、新型コロナウイルス感染予防のため、中止もしくは延期した。

エ 講演会

令和2年3月19日に開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染予防のため、次年度以降に延期した。

④保健所つうしん〈企業版〉の発行（働く世代を対象にした健康づくりに関する情報発信）

号	発行月	内容
第20号	5月	運動について
第21号	9月	たばこの害について
第22号	11月	歯と口の健康について
第23号	1月	災害時の食事について

※ひらかた健康優良企業（41社）、北大阪商工会議所、枚方市保健所公衆衛生協力会、北大阪地域産業保健センターに配布

（17） FMひらかたによる啓発

①概要

毎週木曜日の午後2時から、FMひらかたを通して市民の暮らしや健康に役立つさまざまな情報を発信するとともに、ホームページにおいて「ほけんしょ通信」として放送内容を掲載し、保健衛生事業の推進を図っている。

②内容

月	放送内容
4月	統計調査、カンピロバクター食中毒、こころの体温計とこころの健康相談専用ダイヤル、健康ウォーキングマップ
5月	枚方市猫不妊手術費補助金交付制度、世界禁煙デー、健康づくりボランティア講座受講生募集、H I V 検査普及週間
6月	熱中症予防、食中毒予防の三原則、高齢者の健康維持、風しん抗体検査と予防接種
7月	大麻、セアカゴケグモ、B型・C型肝炎ウイルス検査、健康づくり教室
8月	ひらかた健康ほっとライン24、犬や猫を飼うときのマナー、難病医療費助成制度の更新申請、マタニティスクール、ひらかた健康3ツ星レストラン2019
9月	自殺予防週間、ひらかたわんわん教室、結核予防週間、高齢者の肺炎球菌とインフルエンザ予防接種
10月	薬と健康の週間、浄化槽の日、難病医療費助成制度の更新申請、血糖コントロールセミナー、産後ママ安心ケアサービス
11月	いい歯の日、ノロウイルス食中毒とその予防のポイント、子どもの事故予防、世界エイズデー
12月	大麻に関する正しい知識、枚方市猫不妊手術費補助金交付制度、特定不妊治療費の助成と不育症治療費の助成、個別相談
1月	検便検査、特定不妊治療費・不育症治療費の助成、日本型食生活とバランスの良い食事、歯周病検診
2月	災害時における食事の備え、食中毒予防の6つのポイント、自殺対策強化月間、女性のがん
3月	適正体重、狂犬病予防集合注射のお知らせ、特定不妊治療費の助成と不育症治療費の助成、マタニティマーク

2. 医事薬事関係

(1) 医事関係事務取扱状況（根拠法令 医療法、歯科技工士法、保健師助産師看護師法等）

①手数料を要するもの

区分			処理数
病院	開設許可		2
	検査		21
	自主検査		1
診療所	開設許可		17
	検査		0
	自主検査		0
助産所	開設許可		0
	検査		1
死体保存許可			0
衛生検査所	登録		0
	登録変更		0
	登録証明書	書換	0
		再交付	0
合計			42
収入済額（円）			1, 319, 400

②手数料を要しないもの

項目	処理数
病院関係	152
診療所関係	172
歯科技工所関係	2
助産所関係	4
衛生検査所関係	0
施術所関係	179
医師免許関係	51
歯科医師免許関係	11
保健師免許関係	45
助産師免許関係	14
看護師免許関係	439
歯科技工士免許関係	0
診療放射線技師免許関係	7
診療エックス線技師免許関係	0
理学療法士免許関係	47
作業療法士免許関係	15
視能訓練士免許関係	2
薬剤師免許関係	95
臨床（衛生）検査技師免許関係	15
受胎調節指導員	2
死体解剖資格認定	0
合計	1,252

(2) 病院・診療所立入検査（根拠法令 医療法）

①概要

医療法等の関係法令の遵守状況を確認するため、立入検査を実施した。

②実施状況（医療法に基づく申請、新規開設届出に係る立入検査を含む）

区分	件数
病院	25
透析診療所	5
療養病床診療所	0
有床診療所	0
他診療所	9
歯科診療所	13

(3) 医療放射線管理業務（根拠法令 地域保健法、医療法等）

①概要

医療法第25条第1項及び立入検査要綱に基づき病院等の立ち入り検査を実施し、適切な医療放射線管理の確保に努めた。

②立入検査（医療監視）

区分	定例立入検査	定例外（臨時） 立入検査	合計
病院	24	1	25
透析診療所	2	0	2
療養病床診療所	0	0	0
有床診療所	3	0	3
他診療所	0	0	0
歯科診療所	0	0	0

③医療法に基づく許可・届出収受

区分	放射線診療装置の 許可申請	放射線診療装置の 届出	合計
X線装置	23	99	122
治療装置	0	4	4
密封線源治療	0	0	0
同位元素	1	9	10
治験薬等	0	0	0

④放射線関連相談業務

区分	件数
被ばく相談	0
施設（設備）相談	38
その他	2

(4) 薬事監視指導（根拠法令 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律、毒物及び劇物取締法等）

①概要

医薬品等の取り扱いについて、保健衛生上の適正化を図るため、薬局、医薬品販売業等関係施設に対して監視指導を行った。また、医薬分業の進展に伴い、患者の医薬品情報を一元管理し、医薬品の適正使用を推進する、かかりつけ薬剤師・薬局を育成強化するための普及啓発を併せて図った。

②立入検査実施状況

業種			施設（免許）数	立入検査数
医薬品	薬局		162	117
	店舗販売業		56	50
	薬局医薬品製造販売業		20	17
	薬局医薬品製造業		20	17
	業務上取扱う施設	病院・診療所等		30
		その他		-
医薬部外品	販売業			176
	業務上取扱う施設	病院・診療所等		30
		その他		-
化粧品	販売業			176
	業務上取扱う施設			30
医療機器	高度管理医療機器等販売業・貸与業		180	89
	管理医療機器販売業・貸与業		329	201
	業務上取扱う施設			30
小計			767	963
毒物劇物	販売業		84	39
	毒物劇物取締法 第22条	第1項	3	1
		第5項		38
小計			87	78
合計			854	1, 041

③違反処分の状況

種別		件数
許可取消・登録取消・業務停止		0
改善命令等		0
検査命令等		0
廃棄等		0
その他	報告書及び始末書を徴し、口頭厳重注意処分としたもの	4
	報告書を徴し、口頭厳重注意処分としたもの	4

- (5) 薬事関係事務取扱状況（根拠法令 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律、毒物及び劇物取締法等）

①手数料を要するもの

項目		処理数
薬局・医薬品販売業	許可	23
	許可更新	21
	許可証書換	7
	許可証再交付	0
高度管理医療機器等 販売業・貸与業	許可	16
	許可更新	12
	許可証書換	5
	許可証再交付	0
薬局製剤製造業	許可	0
	許可更新	1
	許可証書換	1
	許可証再交付	0
薬局製剤製造販売業	許可	0
	許可更新	1
	許可証書換	1
	許可証再交付	0
	承認申請	0
	一部変更承認申請	0
小計		88
毒物劇物販売業	登録	3
	登録更新	4
	登録票書換	1
	登録票再交付	-
小計		8
合計		96
収入済額（円）		1,603,700

②手数料を要さないもの

項目	処理数
医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律関係	944
毒物及び劇物取締法関係	22
合計	966

(6) 献血推進事業

①概要

献血推進協議会を中心に、各種団体の協力のもと街頭キャンペーンを行う等、献血の推進に努めた。

②実施状況

年月日	場所	対象者	参加者数	内容等
令和元年 8 月 21 日	京阪枚方市駅前	市民等	1, 000	ティッシュペーパー配布
令和元年 12 月 9 日	京阪枚方市駅前	市民等	1, 000	ティッシュペーパー配布

(7) 薬物乱用防止啓発事業

①概要

枚方市薬物乱用防止連絡会を開催し、枚方市内で薬物乱用防止教育に取り組む関係団体との連携・協力体制の強化を図るとともに、各地域で街頭キャンペーンや講演会等を実施し、広く啓発に努めた。

②枚方市薬物乱用防止連絡会等

年月日	参加者数	概要
令和元年 7 月 25 日	20	枚方市立小学校職員及び枚方市薬物乱用防止連絡会関係者を対象としたスキルアップ講習会（講師 近畿厚生局麻薬取締部職員）
令和元年 10 月 8 日	19	大阪府枚方警察署、大阪府交野警察署、枚方少年サポートセンター、枚方市学校薬剤師会、社会を明るくする運動関係団体・大阪府薬物乱用防止指導員・本市教育委員会等による薬物乱用防止教室実施状況等に関する情報共有及び意見交換
令和 2 年 1 月 30 日	18	薬物乱用防止教室の講師の育成及び資質向上を目的とする薬物乱用防止教室の見学会及び教室後の意見交換会（講師 枚方少年サポートセンター職員）

③啓発活動実施状況

年月日	場所	対象者	参加者数	内容等
令和元年 8 月 25 日	枚方市民会館 大ホール前	市民等	319	「枚方まつり 2019」にてパネル掲示、啓発物品の配布
令和元年 9 月 27 日	摂南大学 枚方キャンパス	学生	211	講義（薬物乱用防止について考える）
令和元年 10 月 4 日	大阪歯科大学 楠葉キャンパス	学生及び職員	52	「健康フェア」にてリーフレット及び啓発物品の配布
令和元年 10 月 14 日	摂南大学 枚方キャンパス	学生、職員及び 学園祭来場者	39	「学園祭」にてパネル・ポスター掲示、啓発物品の配布、アンケートの実施
令和元年 10 月 25 日	摂南大学 枚方キャンパス	学生及び職員	85	「健康フェア」にてリーフレット及び啓発物品の配布
令和元年 10 月 27 日	ラポールひらかた	市民等	201	「枚方市健康・医療・福祉フェスティバル」にてパネル展示、リーフレット及び啓発物品の配布
令和元年 10 月 29 日	京阪枚方市駅 コンコース	市民等	1, 500	「薬物乱用防止街頭キャンペーン」にてリーフレット及び啓発物品の配布
令和元年 11 月 8 日	大阪工業大学 枚方キャンパス	学生及び職員	65	「健康フェア」にてリーフレット及び啓発物品の配布
令和 2 年 2 月 6 日	枚方市立樟葉北 小学校	児童	41	薬物乱用防止教室

(8) 医薬品の適正使用啓発事業

①概要

職員による出前講座「薬の正しい使い方について」を通じて4回の講座を実施した。薬の正しい飲み方や保管方法、かかりつけ薬剤師・薬局の利用促進、健康サポート薬局の紹介、後発医薬品の利用促進、医薬品副作用被害救済制度の周知等、医薬品の適正使用に関する啓発を行った。

②啓発活動実施状況

年月日	参加者数	概要
令和元年5月16日	222	市民を対象とした職員出前講座
令和元年7月9日	44	市民を対象とした職員出前講座
令和2年1月22日	98	市民を対象とした職員出前講座
令和2年2月20日	19	市民を対象とした職員出前講座

(9) 毒物劇物等薬物中毒危機管理事業

保健所における危機管理業務の一環として、毒物劇物等薬物中毒発生時に迅速な対応が行えるよう、北河内地区の災害拠点病院における「毒物劇物等薬物中毒に対する解毒剤の備蓄状況調査」を茨木保健所生活衛生室薬事課分室と実施し、その結果及び連絡体制を関係機関(病院、警察、消防、保健所、医師会、歯科医師会、薬剤師会)と共有した。

今後も、より一層の危機管理体制整備を図るために、本事業を継続していく。

(10) 医療相談

①概要

医療に関する相談や苦情に対応するため、医療相談窓口を設置し、医療の安全と信頼を高め、市内の医療機関における患者サービス及び医療の質の向上に資するために、相談事業を実施している。

②相談受付状況

区分	件数
電話	283
文書	15
来所	21
その他	0
合計	319

(11) 健康・医療相談事業

①概要

市民の健康や医療に対する関心が高まる中、多様化する市民ニーズや社会的課題等に迅速に対応するとともに市民の不安解消と安心を確保するために、委託事業として、医師・保健師・看護師等の専門相談員による24時間・年中無休の健康医療に関する電話相談窓口「ひらかた健康ほっとライン24」を平成28年7月から設置している。

②相談受付状況

ア 利用者年齢別集計

(単位：件)

	相談者（電話利用者）			相談対象者（相談の対象となった人）			
	男性	女性	計	男性	女性	不明	計
乳児	-	-	-	941	816	-	1,757
幼児	-	-	-	1,982	1,424	-	3,406
小学生	1	2	3	473	321	-	794
13～19歳	22	73	95	486	322	-	808
20代	469	1,256	1,725	517	771	-	1,288
30代	858	4,739	5,597	527	1,288	-	1,815
40代	926	3,344	4,270	725	1,695	-	2,420
50代	1,713	2,652	4,365	1,593	1,850	-	3,443
60代	663	1,654	2,317	705	1,257	-	1,962
70代	677	2,048	2,725	879	1,872	-	2,751
80代～	329	740	1,069	596	1,144	-	1,740
不明	-	-	-	-	-	-	-
合計	5,658	16,508	22,166	9,424	12,760	-	22,184

イ 内容別分類集計

相談内容	相談件数	構成比（％）
検診・ドックに関する相談	35	0.16
健康維持・増進に関する相談（特定保健指導及び健康教育）	137	0.62
気になる身体の症状に関する相談	7,410	33.43
家庭看護に関する相談	1,601	7.22
治療に関する相談（現在治療中の方）	4,272	19.27
母子保健に関する相談	68	0.31
育児に関する相談	1,639	7.39
夜間・休日の医療機関案内	2,278	10.28
ストレス・メンタルヘルスに関する相談	2,842	12.82
紹介・手配に関する相談	44	0.20
その他	1,840	8.30
合計	22,166	100.00

Ⅲ 保健衛生課事務概要

1. 食品衛生（根拠法令 食品衛生法、食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律等）

(1) 監視指導

①概要

食中毒の発生や異物混入等の食品に起因する衛生上の危害の発生を防止するため、食品衛生法等関連法規に基づき食品施設の衛生管理や食品添加物の適正使用、製造工程等について監視指導を実施し、食品の安全性確保に努めている。特に食肉の生食メニューを提供している飲食店に対しては、食品営業許可申請時や施設調査時に食中毒の原因となる危険性が高いこと及び提供自粛を促す等啓発指導に努めている。また、制度化されるHACCPについて周知を行っている。

②許可を要する営業施設監視指導状況

業種別	平成29年度		平成30年度		令和元年度	
	施設数	監視指導数	施設数	監視指導数	施設数	監視指導数
飲食店営業	2,961	1,067	3,002	887	3,053	895
菓子製造業	397	179	416	151	420	146
乳処理業	0	0	0	0	0	0
乳製品製造業	2	3	2	2	2	2
魚介類販売業	255	161	266	120	261	88
魚肉ねり製品製造業	5	1	5	3	5	2
食品の冷凍又は冷蔵業	9	6	12	10	15	13
瓶詰又は缶詰食品製造業	6	4	6	5	6	2
喫茶店営業	484	143	448	112	416	80
あん類製造業	1	1	2	2	2	2
アイスクリーム類製造業	48	17	48	27	45	23
乳類販売業	521	128	514	158	495	101
食肉処理業	13	15	14	20	16	11
食肉販売業	279	100	285	134	275	83
食肉製品製造業	1	1	1	2	1	1
食用油脂製造業	1	2	1	1	1	1
マーガリン又はショートニング製造業	2	3	2	2	2	2
みそ製造業	2	2	2	1	2	1
醤油製造業	1	1	1	1	1	1
ソース類製造業	1	1	1	2	1	1
酒類製造業	1	1	1	1	1	1
豆腐製造業	10	8	10	4	6	5
めん類製造業	9	8	9	10	9	7
そうざい製造業	33	28	37	25	37	25
添加物製造業	5	4	7	6	7	8
清涼飲料水製造業	0	0	0	0	0	0
氷雪製造業	0	0	0	0	0	0
氷雪販売業	1	0	1	0	1	0
合計	5,048	1,884	5,093	1,686	5,080	1,501

③許可を要しない営業施設監視指導状況

業種別		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
		施設数	監視指導数	施設数	監視指導数	施設数	監視指導数
集団給食	学校	50	5	50	8	51	7
	病院・診療所	53	12	53	13	53	11
	事業所	8	0	8	0	8	0
	その他	190	34	222	40	244	41
	小計	301	51	333	61	356	59
乳さく取業		4	0	4	0	4	0
食品製造業		23	4	24	5	30	12
野菜・果物販売業		272	58	271	19	270	20
そうざい販売業		266	47	265	44	265	50
菓子（パンを含む）販売業		458	70	457	172	456	435
上記以外の食品販売業		703	114	702	61	689	29
規格のない添加物	製造業	2	1	2	0	2	0
	販売業	259	48	258	20	258	15
器具・容器 包装・おもちゃ	製造業	5	0	5	0	6	0
	販売業	195	41	194	20	193	15
合計		2,488	434	2,515	402	2,529	635

④府条例により許可を要する営業

業種別		施設数	監視指導数
ふぐ処理業	飲食店営業	49	5
	魚介類販売業	31	6
	その他	0	0
合計		80	11

⑤食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律に規定する営業

業種別	施設数	監視指導数
食鳥処理場（30万羽以上処理）	0	0
認定小規模食鳥処理場（生体から処理）	0	0
認定小規模食鳥処理場（と体から処理）	3	3
小計	3	3
届出食肉販売業	0	0
合計	3	3

(2) 食中毒

①食中毒発生状況（管内施設）

年度	発生 年月日	原因 施設	患者数	原因食品	原因物質	措置
平成29年度	平成29年 12月14日	不明	1	不明	アニサキス	特記事項なし
	平成30年 1月30日	飲食店	7	平成30年1月29日に 提供された食事（鶏 刺身含む）	カンピロバクター・ ジェジュニ	営業停止 衛生教育実施
	平成30年 2月26日	飲食店	18	平成30年2月25日及 び3月2日に提供され た食事	ノロウイルスGⅡ	営業停止 衛生教育実施
平成30年度	平成30年 4月7日	飲食店	5	平成30年4月6日に提 供された食事	カンピロバクター・ ジェジュニ	営業停止 衛生教育実施
令和元年度	令和元年 5月9日	飲食店	4	令和元年5月7日に提 供された食事	カンピロバクター・ ジェジュニ	営業停止 衛生教育実施
	令和元年 12月7日	不明	44	ケーキ	ノロウイルスGⅠ	衛生教育実施

②食中毒関連調査（他府県市等管外からの依頼調査を含む）

調査件数	調査人数	患者数
37	227	86

③食中毒等関連検査

	件数
食品	0
便	60
吐物	0
ふきとり	0
容器	0
その他	(※) 2
合計	62

(※) 菌株の同定

(3) 食品衛生に関する苦情・相談処理状況

	苦情	相談	合計
処理件数	97	1,148	1,245

(4) 食品等の収去検査

①概要

市内で製造又は流通する食品等の安全を確認し、健康被害の発生防止及び違反食品の流通防止を図るため実施した。規格基準検査の違反はなかった。衛生規範及び汚染実態の検査結果が陽性であった施設については、現場監視等により改善を指導した。

②実施状況

検体名	件数
魚介類	8
冷凍食品	5
魚介類加工品	12
肉卵類及びその加工品	30
穀類及びその加工品	12
野菜果物類及びその加工品	43
菓子類	14
清涼飲料水	1
水	3
その他の食品	3
牛乳	8
乳製品	4
乳類加工品	1
アイスクリーム類・氷菓	4
缶詰・瓶詰食品	3
器具及び容器包装	2
おもちゃ	1
ふきとり及びその他食品以外の検査	0
その他の現場検査	41
合計	195

(5) 食品衛生事務取扱状況

①手数料を要するもの

区分			処理数
飲食店営業	新規		235
	更新		267
	露店	新規	61
		更新	11
喫茶店営業	新規		21
	更新		42
	露店	新規	3
		更新	0
菓子製造業	新規		25
	更新		43
	露店	新規	9
		更新	2
アイスクリーム類製造業	新規		3
	更新		7
乳類販売業	新規		27
	更新		40
食肉処理業	新規		3
	更新		1
食肉販売業	新規		16
	更新		24
魚介類販売業	新規		22
	更新		21
魚肉ねり製品製造業	更新		2
食品の冷凍又は冷蔵業	新規		2
	更新		1
豆腐製造業	新規		1
めん類製造業	更新		2
そうざい製造業	新規		1
	更新		4
添加物製造業	更新		2
ふぐ処理業			2
合 計			900

②手数料を要しないもの

区分	処理数
食品衛生法に基づくもの	1,190
府条例に基づくもの	21
食鳥関係に基づくもの	2
証明願	21
その他各種届（バザー等）	273
合計	1,507

(6) 衛生教育・啓発キャンペーン実施状況

実施日	場 所	対象者	内容等	参加者
令和元年 5月8日	枚方市保健所	食品関係事業者等	食品衛生講習会	13
5月24日	枚方市立メセナひらかた会館	特定給食施設調理従事者等	食品衛生講習会	89
5月31日	枚方市市民会館	地域密着型サービス事業者(グループホーム等)	食品衛生講習会	45
6月4日	枚方市保健所	食品関係事業者等	食品衛生講習会	7
6月16日	枚方市内小学校	市民等	食品衛生教育	50
6月21日	枚方市市民会館	保育給食施設調理従事者等	食品衛生講習会	73
6月25日	枚方市市民会館	食品関係事業者等	食品衛生講習会	27
6月26日	枚方市 牧野生涯学習市民センター	市民等	食品衛生出前講座	13
7月10日	枚方市保健所	食品関係事業者等	食品衛生講習会	10
7月22日	京阪枚方市駅周辺	市民等	食中毒予防啓発街頭キャンペーン	1,000
7月23日	輝きプラザきらら	学校給食関係職員	学校給食施設調理従事者等	122
8月8日	枚方市保健所	食品関係事業者等	食品衛生講習会	7
9月3日	枚方市保健所	食品関係事業者等	食品衛生講習会	9
9月6日	枚方市保健所	第3衛生委員会 委員	食品衛生講習会	12
9月26日	枚方市市民会館	食品関係事業者等	菓子製造業向け HACCP セミナー及び食品表示セミナー	48
10月4日	枚方市内大学キャンパス	大学生	食品衛生行政についての講義	200
10月9日	枚方市保健所	食品関係事業者等	食品衛生講習会	14
11月7日	枚方市保健所	食品関係事業者等	食品衛生講習会	7
11月11日	京阪枚方市駅周辺	市民等	食中毒予防啓発街頭キャンペーン	1,000
11月12日	枚方市市民会館	食品関係事業者等	飲食店向け HACCP セミナー	22
11月27日	枚方市市民会館	食品関係事業者等	パン製造業向け HACCP セミナー及び食品表示セミナー	25
12月3日	枚方市保健所	食品関係事業者等	食品衛生講習会	8
令和2年 1月15日	枚方市保健所	食品関係事業者等	食品衛生講習会	1
2月6日	プリムローズ大阪	食品関係事業者等	食鳥処理衛生管理者登録講習会	87
2月13日	枚方市保健所	食品関係事業者等	食品衛生講習会	6
2月21日	枚方市内自治会館	市民等	食品衛生出前講座	20
3月17日	枚方市保健所	食品関係事業者等	食品衛生講習会	5

2. 環境衛生（根拠法令 理容師法、美容師法、クリーニング業法、旅館業法、公衆浴場法、建築物衛生法、大阪府遊泳場条例等）

(1) 監視指導

①概要

環境衛生関係施設に立入し、衛生管理状況の確認や必要な指導を行うことで衛生水準の向上を図る。

特に公衆浴場については、全施設の立入監視を行うとともに、循環式浴槽を有する施設を対象に浴槽水の水質検査を実施し、レジオネラ症の発生予防に努めている。

②監視指導状況

施設名		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
		施設数	監視指導数	施設数	監視指導数	施設数	監視指導数
営業関係施設	旅館	17	98	18	69	19	53
	住宅宿泊事業			10	125	14	70
	興行場	6	7	6	3	6	8
	公衆浴場	24	51	23	54	22	60
	理容所	248	28	245	40	244	38
	美容所	601	213	626	248	645	229
	クリーニング所	219	29	217	57	215	17
	同上無店舗取次店	7	0	7	0	7	0
水道関係	専用水道	32	73	33	72	32	102
	簡易専用水道	810	55	810	91	809	118
	小規模貯水槽水道		22		19		16
	井戸等		22		22		14
浄化槽関係	浄化槽	12,824	130	9,749	126	7,400	124
	保守点検業	51	18	45	10	47	24
墓地等	火葬場	1	0	1	0	1	0
	墓地	143	46	143	30	143	45
	納骨堂	6	2	6	3	6	14
建築物衛生関係	特定建築物	98	127	99	87	98	80
	登録営業所	31	46	32	13	32	22
遊泳場関係	通年プール	12	32	12	26	12	35
	夏期プール	3	29	3	15	3	15
家庭用品関係	小売店等		5		5		5
その他の施設	化製場等	5	9	5	6	5	8
	温泉利用施設	2	4	2	1	4	11
関連業務			138		98		133
合計		15,140	1,184	12,092	1,220	9,764	1,241

③違反処分の状況

なし

④法定検査結果に伴う改善指導件数（水道法、浄化槽法）

ア 簡易専用水道等に関する改善指導件数

種別	検査結果 受理件数	改善指導件数	立入件数
簡易専用水道	608	69	1
小規模貯水槽	41	2	0

イ 浄化槽に関する改善指導件数

種別	検査結果 受理件数	改善指導件数	立入件数
浄化槽法第7条法定検査	22	3	0
浄化槽法第11条法定検査	542	23	0

(2) 環境衛生事務取扱状況

①手数料を要するもの（根拠法令 温泉法、旅館業法、公衆浴場法等）

区分		処理数
営業関係	旅館業許可申請	1
	旅館業承継承認申請	3
	公衆浴場許可申請	1
	許可済証明	1
	理容所検査	6
	美容所検査	36
	クリーニング所検査	1
温泉関係	温泉利用許可申請	2
化製場関係	動物飼養場許可申請	1
浄化槽保守 点検業関係	登録申請	6
	書換え交付申請	4
合計		62
収入済額（円）		1, 047, 500

②手数料を要しないもの

区分	処理数
旅館関係	2
住宅宿泊事業関係	4
公衆浴場関係	7
興行場関係	1
理容所関係	16
美容所関係	63
クリーニング所関係	5
営業関係証明願	2
専用水道関係	546
簡易専用水道関係	30
浄化槽関係	251
浄化槽保守点検業	6
化製場等関係	0
建築物衛生関係	49
遊泳場関係	108
温泉関係	0
そ族昆虫関係	0
合計	1,090

③大阪府への経由事務

区分	処理数
クリーニング師試験	0
クリーニング師免許申請	0
温泉許可等申請	0
遊泳場許可等申請	4
建築物衛生管理業登録等申請	53
合計	57

(3) 苦情・相談処理状況

①概要

感染症を媒介するおそれのある衛生害虫等の住民相談については、その生態や駆除方法について説明を実施している。

②実施状況

種別	件数
営業関係	12
住宅宿泊事業関係	6
遊泳場関係	2
水道関係	0
浄化槽関係	5
化製場関係	1
墓地関係	3
建築物衛生関係	0
温泉関係	0
住居衛生関係	2
衛生害虫関係	192
セアカゴケグモ関係	57
合計	280

(4) 衛生教育実施状況

実施日	実施場所	対象者	内容等	参加者数
令和元年 11月25日	枚方市立メセナ ひらかた会館	市内理容所開設者等	理容所における衛生管理について	61
令和2年 2月17日	枚方市立メセナ ひらかた会館	市内美容所開設者等	美容所における衛生管理について	58

(5) 現場検査等実施状況

項目	件数
衛生害虫の検鏡	21
残留塩素測定	248
合計	269

(6) 公衆浴場採水検査結果

①概要

循環式浴槽を有する施設を対象として全施設の浴槽水の水質検査を実施した。レジオネラ属菌が検出された施設については清掃、消毒を指導し、その後の再検査で未検出を確認した。

②実施状況

検査項目	検体数		
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
濁度	7 (0)	7 (0)	20 (0)
過マンガン酸カリウム消費量	7 (0)	7 (0)	20 (0)
大腸菌群	7 (0)	7 (0)	20 (0)
遊離残留塩素	7 (0)	7 (0)	27 (0)
レジオネラ属菌	7 (0)	7 (0)	27 (6)

() は、基準値超過検体数

(7) 遊泳場採水検査結果

①概要

遊泳場の遊泳水槽及び採暖槽の水質検査を実施した。遊泳水槽において過マンガン酸カリウム消費量が基準を超過して検出された施設については換水等を指導し、その後の再検査で基準適合を確認した。

②実施状況

検査項目	検体数		
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
p H	29 (0)	29 (0)	29 (0)
濁度	29 (0)	29 (0)	29 (0)
過マンガン酸カリウム消費量	29 (0)	29 (0)	35 (6)
大腸菌	29 (0)	29 (0)	29 (0)
一般細菌	29 (0)	30 (1)	29 (0)
遊離残留塩素	34 (0)	34 (0)	35 (0)
レジオネラ属菌 (採暖槽のみ)	5 (1)	5 (1)	29 (0)

() は、基準値超過検体数

(8) 専用水道採水検査結果

①概要

専用水道（自己水源を有する）の立入検査時に、原水、処理水及び給水栓水について、各施設の状況に応じ必要な水質検査を実施した。基準に適合しなかった施設については、改善指導を行い、再検査で基準適合を確認した。

②実施状況

検査項目	検体数								
	平成29年度			平成30年度			令和元年度		
	原水	処理水	給水栓水	原水	処理水	給水栓水	原水	処理水	給水栓水
一般細菌	0	0(0)	26(0)	0	0(0)	30(0)	0	0(0)	34(1)
大腸菌	15	0(0)	26(0)	17	0(0)	30(0)	18	0(0)	33(0)
硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	0	0(0)	26(0)	0	0(0)	30(0)	0	0(0)	33(0)
シス及びトランス-1, 2-ジクロロエチレン	4	4(0)	0(0)	4	4(0)	0(0)	5	5(0)	0(0)
ジクロロメタン	0	0(0)	0(0)	4	4(0)	0(0)	0	0(0)	0(0)
テトラクロロエチレン	4	4(0)	0(0)	4	4(0)	0(0)	5	5(0)	0(0)
トリクロロエチレン	4	4(0)	0(0)	4	4(0)	0(0)	5	5(0)	0(0)
ベンゼン	0	0(0)	0(0)	4	4(0)	0(0)	0	0(0)	0(0)
塩素酸	0	0(0)	2(0)	0	0(0)	2(0)	0	1(0)	3(0)
鉄及びその化合物	0	0(0)	26(0)	0	0(0)	30(0)	0	0(0)	33(0)
マンガン及びその化合物	0	0(0)	26(0)	0	0(0)	30(0)	0	0(0)	33(0)
塩化物イオン	0	0(0)	26(0)	0	0(0)	30(0)	0	0(0)	33(0)
有機物（全有機炭素（TOC）の量）	0	0(0)	26(0)	0	0(0)	30(0)	0	0(0)	33(0)
pH値	0	0(0)	26(0)	0	0(0)	30(0)	0	0(0)	33(0)
味	0	0(0)	26(0)	0	0(0)	30(0)	0	0(0)	33(1)
臭気	0	0(0)	26(0)	0	0(0)	30(0)	0	0(0)	33(1)
色度	0	0(0)	26(0)	0	0(0)	30(0)	0	0(0)	33(0)
濁度	0	0(0)	26(0)	0	0(0)	30(0)	0	0(0)	33(0)
嫌気性芽胞菌	15	0(0)	0(0)	17	0(0)	0(0)	18	0(0)	0(0)

（ ）は、基準値超過検体数

(9) 家庭用品試買試験検査実施結果

①概要

有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律に基づき、広く一般に販売されている家庭用の繊維製品のうち、特にホルムアルデヒドに係る違反件数が多いとされる乳幼児用繊維製品について、小売店等から試買し、試験検査を実施した。

②実施状況

項目	対象	平成29年度		平成30年度		令和元年度	
		試験検査件数	違反件数	試験検査件数	違反件数	試験検査件数	違反件数
ホルムアルデヒド	乳幼児用繊維製品	50	0	50	0	50	0
合計		50	0	50	0	50	0

(10) ウエストナイル熱媒介蚊調査

①概要

保健所、楠葉中央公園、王仁公園及び香里ヶ丘中央公園敷地内において蚊を捕獲し、地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所にウイルス検査を依頼した。

捕獲した蚊について、ウエストナイルウイルス、デングウイルス、日本脳炎ウイルス等のフラビウイルス属は全て未検出であった。

※フラビウイルス属とは、ウエストナイル熱、デング熱、日本脳炎を起こすウイルスが含まれるグループの総称

②実施状況（捕獲数：匹）

ア 枚方市保健所

回数	1	2	3	4	5	6	7	8	合計
捕獲・検査日	6/26	7/10	7/24	8/7	8/21	9/4	9/18	10/2	
アカイエカ	3	2	2	2	1	0	0	0	10
コガタアカイエカ	0	0	3	0	0	0	0	0	3
ヒトスジシマカ	3	1	8	6	6	39	1	2	66
合計	6	3	13	8	7	39	1	2	79

イ 楠葉中央公園

回数	1	2	3	4	5	6	7	8	合計
捕獲・検査日	6/26	7/10	7/24	8/7	8/21	9/4	9/18	10/2	
アカイエカ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
コガタアカイエカ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒトスジシマカ	1	1	18	3	2	2	9	0	36
合計	1	1	18	3	2	2	9	0	36

ウ 王仁公園

回数	1	2	3	4	5	6	7	8	合計
捕獲・検査日	6/26	7/10	7/24	8/7	8/21	9/4	9/18	10/2	
アカイエカ	0	0	1	0	0	0	0	0	1
コガタアカイエカ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒトスジシマカ	12	13	23	6	7	19	13	9	102
合計	12	13	24	6	7	19	13	9	103

エ 香里ヶ丘中央公園

回数	1	2	3	4	5	6	7	8	合計
捕獲・検査日	6/26	7/10	7/24	8/7	8/21	9/4	9/18	10/2	
アカイエカ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
コガタアカイエカ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒトスジシマカ	1	0	22	10	18	26	17	16	110
合計	1	0	22	10	18	26	17	16	110

(11) セアカゴケグモ

咬傷被害防止のためにパンフレットやホームページで啓発を行うとともに、市民や施設管理者からの相談があった場合は、駆除の方法等について指導し、必要に応じて現場指導を行った。

3. 試験検査（根拠法令 地域保健法、食品衛生法等）

(1) 病原微生物等検査

①概要

市民等からの依頼による検便（腸内細菌検査及び寄生虫卵検査）と、感染症発生時の感染拡大防止のための腸内細菌及びウイルス検査を実施した。

②実施状況

ア 手数料を要するもの（市民等からの依頼による検査）

検査項目		検体数		
		平成29年度	平成30年度	令和元年度
腸内細菌検査	赤痢菌、サルモネラ属菌、腸管出血性大腸菌O157等	336	315	285
寄生虫卵検査	ぎょう虫卵	2	－	4
	ぎょう虫卵以外の寄生虫卵	3	3	3
合計		341	318	292
収入済額（円）		873, 688	818, 856	754, 040

イ 手数料を要しないもの（感染症発生時の検査）

検査項目		検体数（陽性検体数）		
		平成29年度	平成30年度	令和元年度
腸内細菌検査	チフス菌	－	－	－
	赤痢菌	3(－)	－	－
	腸管出血性大腸菌O157	33(4)	10(1)	10(－)
	腸管出血性大腸菌O26	－	10(2)	50(5)
	腸管出血性大腸菌O111	－	2(－)	－
	腸管出血性大腸菌O103	－	－	－
	腸管出血性大腸菌O121	－	－	－
	腸管出血性大腸菌O91	1(－)	－	－
	腸管出血性大腸菌(O型別不明)	1(－)	－	2(－)
ウイルス検査	ノロウイルス	2(－)	－	－
	その他	－	－	－
合計		40(4)	22(3)	62(5)

(2) 食中毒等検査

①概要

食中毒等健康被害発生時の原因究明及び拡大防止のための検査を実施した。昨年度と同様、カンピロバクター属菌およびノロウイルスの陽性が多くみられた。

②実施状況

検査項目			検体数（陽性検体数）		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度
内 訳	腸内細菌検査	赤痢菌	22(-)	21(-)	14 (-)
		サルモネラ属菌	22(2)	19(-)	14 (-)
		腸管出血性大腸菌	22(-)	* 24(-)	14 (-)
		ビブリオ属菌	22(-)	18(-)	14 (-)
		カンピロバクター属菌	* * 30(5)	* 35(13)	* * 26 (4)
		黄色ブドウ球菌	22(-)	16(-)	14 (1)
		セレウス菌	22(-)	16(-)	14 (-)
		ウェルシュ菌	22(-)	16(-)	15 (-)
	ウイルス検査	ノロウイルス	102(40)	15(3)	44 (25)
		その他のウイルス	1(-)	4(-)	-
	寄生虫検査	クドア・セブテンブクタータ	-	3(-)	1 (-)
検体数			117(47)	47(16)	62 (29)

* うち1検体は菌株同定

* * うち2検体は菌株同定

(3) 食品収去検査

①概要

市内で製造又は流通している食品について、食品衛生法に基づく検査を実施した。

②微生物検査

区分		微生物検査検体数合計	検査項目													
			微生物検査 項目別													
			腸管出血性大腸菌	属菌	カンピロバクター	サルモネラ属菌	ビブリオ属菌	細菌数	大腸菌群	大腸菌	黄色ブドウ球菌	属菌	クロストリジウム	リステリア属菌	緑膿菌	腸球菌
魚介類		8	4	4	4	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
冷凍食品	無加熱摂取	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	凍結前加熱・加熱後摂取	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	凍結前未加熱・加熱後摂取	5	-	-	-	-	5	-	5	-	-	-	-	-	-	-
	生食用冷凍鮮魚介類	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
魚介類加工品		10	-	-	-	2	5	3	5	5	-	-	-	-	-	-
肉卵類及びその加工品		24	14	14	17	-	6	1	9	9	1	2	-	-	-	-
生乳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
牛乳		2	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-
低脂肪牛乳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
加工乳	乳脂肪分3%以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	乳脂肪分3%未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他の乳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
乳製品		4	-	-	-	-	2	4	-	-	-	-	-	-	-	2
乳類加工品		1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
アイスクリーム類・氷菓		4	-	-	-	-	4	4	-	-	-	-	-	-	-	-
穀類及びその加工品		10	1	1	1	-	7	2	5	7	2	-	-	-	-	-
野菜類・果物及びその加工品		20	10	3	7	3	7	-	9	6	-	-	-	-	-	3
菓子類		9	-	-	9	-	9	9	-	9	-	-	-	-	-	-
清涼飲料水		1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	1	-	-
酒精飲料		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
氷雪		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
水		3	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
かん詰・びん詰食品		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他の食品		1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
拭き取り		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
スタンプ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計		102	30	22	38	9	48	29	33	36	3	3	1	1	5	

③理化学検査

区分		理化学検査検体数合計	検査項目					
			理化学検査 項目別					
			甘味料	保存料	着色料	発色剤	漂白剤	その他
魚介類		0	—	—	—	—	—	—
冷凍食品	無加熱摂取	0	—	—	—	—	—	—
	凍結前加熱・加熱後摂取	0	—	—	—	—	—	—
	凍結前未加熱・加熱後摂取	0	—	—	—	—	—	—
	生食用冷凍鮮魚介類	0	—	—	—	—	—	—
魚介類加工品		0	—	—	—	—	—	—
肉卵類及びその加工品		0	—	—	—	—	—	—
生乳		0	—	—	—	—	—	—
牛乳		0	—	—	—	—	—	—
低脂肪牛乳		0	—	—	—	—	—	—
加工乳	乳脂肪分3%以上	0	—	—	—	—	—	—
	乳脂肪分3%未満	0	—	—	—	—	—	—
その他の乳		0	—	—	—	—	—	—
乳製品		0	—	—	—	—	—	—
乳類加工品		0	—	—	—	—	—	—
アイスクリーム類・氷菓		0	—	—	—	—	—	—
穀類及びその加工品		0	—	—	—	—	—	—
野菜類・果物及びその加工品		0	—	—	—	—	—	—
菓子類		0	—	—	—	—	—	—
清涼飲料水		0	—	—	—	—	—	—
酒精飲料		0	—	—	—	—	—	—
氷雪		0	—	—	—	—	—	—
水		0	—	—	—	—	—	—
かん詰・びん詰食品		0	—	—	—	—	—	—
その他の食品		0	—	—	—	—	—	—
拭き取り		0	—	—	—	—	—	—
スタンプ		0	—	—	—	—	—	—
その他		0	—	—	—	—	—	—
合計		0	0	0	0	0	0	0

(4) 環境衛生検査

①概要

公衆浴場法及び大阪府遊泳場条例に基づき、水質検査を実施した。また、有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律に基づく、試買した繊維製品中のホルムアルデヒド検査を実施した。

②実施状況

区分				検査件数（陽性数）
水質検査	遊泳場水	遊泳水槽水	一般細菌	-（-）
		採暖槽水	レジオネラ定量	7（-）
			レジオネラ LAMP	-（-）
	浴場水 浴槽水	大腸菌群	20（-）	
		レジオネラ定量	27（6）	
		レジオネラ LAMP	7（6）	
	その他	一般細菌	2（-）	
家庭用品	衣類ホルムアルデヒド			50（-）

(5) 精度管理

①外部精度管理

ア 概要

検査施設における業務管理の一環として、外部検査機関が行う精度管理調査に参加した。食品理化学2項目、食品微生物5項目、水質微生物1項目、感染症微生物1項目の合計9項目である。

イ 実施状況

	項目	カテゴリー	試料形態
食品 理化学	保存料（ソルビン酸）		シロップ
	着色料（酸性タール色素中の許可色素）		あん類
食品 微生物	E. coli	加熱食肉製品（加熱殺菌後包装）	ハンバーグ
	一般細菌数	氷菓	ゼラチン基材
	黄色ブドウ球菌	加熱食肉製品（加熱殺菌後包装）	マッシュポテト
	サルモネラ属菌	食鳥卵（殺菌液卵）	液卵
	大腸菌群	加熱食肉製品（包装後加熱殺菌）	ハンバーグ
水質 微生物	レジオネラ属菌		菌株
感染症 微生物	腸管出血性大腸菌 <i>Escherichia coli</i> 026 <i>Escherichia coli</i> 0121 <i>Escherichia coli</i> 0165		菌株

②内部精度管理

ア 概要

検査施設における業務管理の一環として、食品理化学2項目、感染症微生物2項目について内部精度管理を実施した。

イ 実施状況

		項目
食品理化学		甘味料（サッカリン及びサッカリン塩）
		甘味料（サイクラミン酸及びサイクラミン酸塩）
感染症微生物	細菌検査	赤痢菌、チフス菌、パラチフス A 菌及びコレラ菌
	ウイルス検査	ノロウイルス（GⅠ、GⅡ）

4. 動物管理（根拠法令 狂犬病予防法、動物の愛護及び管理に関する法律等）

(1) 苦情相談並びに依頼

①概要

動物の愛護及び管理に関する法律及び大阪府動物の愛護及び管理に関する条例に基づき、犬及び猫の飼養者に対し適正な飼養管理について、啓発、指導を行った。

②犬

項目	件数		
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
放し飼い	5	10	8
脱糞	13	11	7
浮浪犬捕獲収容依頼	9	32	16
放棄依頼	24	15	35
迷い犬	148	139	118
犬登録、不妊手術費補助金等手続きに関する相談	7,217	7,294	6,900
その他	69	64	96
合計	7,485	7,565	7,180

③猫及びその他の動物

項目	件数		
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
苦情	98	108	142
収容及び引取依頼	79	99	96
迷い猫	113	145	117
その他（猫）	146	128	165
その他の動物による苦情相談	91	63	21
合計	527	543	541

(2) 咬傷犬

①概要

大阪府動物の愛護及び管理に関する条例に基づき、人を咬んだ犬の飼い主から届出を受理するとともに、再発防止に向けての注意指導を行った。

②内容

項目		件数
咬傷犬数	飼い犬	15
	不明犬	1
咬傷犬検診数		13
咬傷被害者数		14
飼い犬咬傷届受付数		14

(3) 捕獲・引取・収容等（犬、猫及びその他の動物）

		犬			猫			その他の動物	合計
		成犬	子犬	小計	成猫	子猫	小計		
捕獲数		7	0	7					7
引取数	所有者有り	0	0	0	31	1	32		32
	所有者不明	5	0	5	2	8	10		15
	合計	5	0	5	33	9	42		47
負傷動物収容数		0	0	0	6	2	8	0	8
返還数		9	0	9	1	0	1	0	10

(4) 薬物による野犬の掃討状況

なし

(5) 譲渡件数（枚方市実施分）

項目	頭、匹数		
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
成犬	3	4	2
子犬	0	0	0
成猫	2	2	5
子猫	17	21	12

(6) 指導措置状況（犬）

項目	件数
立ち入り調査	86
口頭指示	17
注意啓発票交付	11
指導注意票交付	15
措置命令書交付	0
告発	0

(7) 動物愛護啓発事業

実施日	事業名	場所
平成31年4月7日	愛犬お悩み相談会	枚方市役所別館前
令和元年9月	動物愛護啓発パンフレットの配布	枚方市立小学校
9月4日～12日	動物愛護パネル展	津田支所
9月14日～26日	動物愛護パネル展	枚方市立中央図書館
9月17日	猫の飼い方教室	枚方市立中央図書館
10月19日	犬のしつけ方教室 講義	枚方市保健所
10月20日	犬のしつけ方教室 実技	穂谷川清掃工場
令和2年2月～3月	動物愛護啓発標語・写真コンクール	枚方市

(8) 犬登録・狂犬病予防注射件数

①犬の登録件数（月別）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規	260	144	103	93	83	98	85	86	87	60	55	41	1,195
転入	42	28	30	21	24	13	22	11	21	25	19	50	306

※転入の場合は、他市町村の鑑札と無料交換、紛失は再交付

②狂犬病予防注射済票交付件数（月別）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	6,866	2,397	949	527	266	267	410	341	234	125	106	91	12,579

③犬登録・狂犬病予防注射件数（年度別）

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度
新規犬登録件数	1,009 (283)	1,163 (293)	1,195 (306)
累計犬登録件数	18,544	18,563	18,723
狂犬病予防注射済票交付件数	12,666	12,603	12,579

() は、他市町村からの転入に伴う登録件数で外数（無料交換・再交付）

(9) 猫の不妊手術費補助

①地域猫の不妊手術費補助件数（月別補助金交付申請件数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数(雄)	0	0	0	0	0	4	0	0	14	0	3	4	25
件数(雌)	0	0	0	0	0	4	0	0	14	0	1	10	29

※補助額（上限）：（雄）10,000円、（雌）15,000円。

②地域猫以外の不妊手術費補助件数（月別補助金交付申請件数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数			123	78	58	68	108	85	119	102	106	53	900

※補助額（上限）：3,500円。6月1日より申請受付開始。

③猫の不妊手術費補助件数（年度別）

平成29年度	平成30年度	令和元年度
600	900	954

IV 保健予防課事務概要

1. 感染症予防（根拠法令 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律）

(1) 感染症発生届受理状況（結核除く）（平成31年1月～令和元年12月）

類型別疾病名		発生届受理件数
一類感染症		0
二類感染症		0
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	9
四類感染症	レジオネラ症	5（1件取り下げ）
	A型肝炎	1
	デング熱	4（1件取り下げ）
	オウム病	2
五類感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	22（1件取り下げ）
	梅毒	24（3件取り下げ）
	急性脳炎	2
	アメーバ赤痢	1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	11
	後天性免疫不全症候群（H I V感染症を含む）※	5
	百日咳	41（1件取り下げ）
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3
	クロイツフェルト・ヤコブ病	2
	風しん	7（3件取り下げ）
	ジアルジア症	1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1
	破傷風	1
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	3（1件取り下げ）

※後天性免疫不全症候群：エイズ

※H I V：ヒト免疫不全ウイルス

(2) 新型コロナウイルス感染症発生状況

発生届受理件数
8

※令和2年2月～3月

※令和2年2月1日～指定感染症

(3) 新型コロナウイルス感染症行政検査実施状況

大安研※検査依頼実人数	うち陽性者数	陽性率（％）
87	8	9.2

※令和2年1月～3月

※大安研：大阪健康安全基盤研究所

(4) 感染症診査協議会実施状況（結核含む）

感染症診査協議会開催回数（下記 FAX 診査回数は含めない）				24
FAX 診査（※）回数				14
医療費 公費負担状況	通院患者 (37 条の 2)		件数	申請に対する比（％）
		申請	131	
		承認	131	100
	入院勧告 (37 条)	公費負担承認	131	100
		申請	83	
		承認	83	100

※法第20条に基づく入院延長の適否について、簡易な方法で協議会へ意見聴取を行うもの

(5) 枚方市感染症発生動向調査委員会

開催回数	1
委員人数	6
報告内容	・平成 30 年（2018 年）大阪府感染症発生動向調査委員会報告のまとめ ・平成 30 年（2018 年）枚方市感染症発生動向調査委員会報告のまとめ ・枚方市の結核の現状と今後の取り組み ・令和元年（2019 年）の感染症トピックス (感染症法改正（疑似症）、G20 大阪サミット感染症サーベイランス、麻しん、デング熱、インフルエンザ、院内感染対策に関する調査)

(6) 集団発生受理件数

疾病名	受理件数	疫学調査・相談等対応延件数
インフルエンザ	10	33
感染性胃腸炎	8	131
不明熱・咳	4	22
ノロウイルス	3	26
マイコプラズマ肺炎	2	43
ロタウイルス	2	33
多剤耐性緑膿菌	1	17
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	5
ヒトメタニューモウイルス	1	10

(7) 患者及び接触者等への疫学調査・行政検査等対応状況（他市・機関からの対応依頼分含む）

疾病名		対応実件数			行政検査実施状況					疫学調査・相談等対応延件数
		管内	他市・機関からの依頼	合計	大安研※依頼件数	保健所実施件数	その他実施件数	合計	うち陽性件数	
一類	エボラ出血熱	0	1	1	0	0	0	0	0	2
三類	腸管出血性大腸菌感染症	5	4	9	0	61	10	71	4	254
四類	レジオネラ症	5	1	6	1	0	0	1	4	75
	デング熱・チクングニア熱・ジカ熱	6	0	6	5	0	1	6	1	99
	E型肝炎	1	0	1	0	0	0	0	0	7
	重症熱性血小板減少症候群	1	0	1	0	0	0	0	0	11
五類	麻しん	13	0	13	12	0	1	13	0	110
	風しん	10	1	11	7	0	1	8	1	119
	水痘(入院例)	1	0	1	0	0	0	0	0	2
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	10	0	10	10	0	0	10	3	98
	急性脳炎	3	0	3	1	0	0	1	0	20
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	5	0	5	5	0	0	5	5	24
	劇症型溶連菌感染症	1	0	1	0	0	0	0	0	10
	アメーバ赤痢	1	0	1	0	0	0	0	0	4
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	0	1	0	0	0	0	0	3
	ジアルジア症	1	0	1	0	0	0	0	0	4
指定感染症	新型コロナウイルス感染症	84	14	98	87	0	0	87	8	814

※大安研：大阪健康安全基盤研究所

(8) 予防啓発事業（結核・性感染症関係除く）

テーマ	対象	実施回数	実施時期	延参加者数	イベント名・内容等
結核・ノロウイルスから身をまもるために～感染症の予防・対策～	社会福祉法人	1回	5月31日	40人	福祉指導監査課 施設指導監査報告会で講演
院内感染対策について	病院協会 市内25病院	1回	7月9日	13人	病院協会会議にて病院代表者を対象に講演
「感染症の予防と対策について」—実演します!!—	サプリ村野 職員	1回	8月6日	14人	サプリ村野職員を対象に講演と実演
デング熱について	病院協会 市内25病院	1回	9月27日	13人	病院協会会議にて病院代表者を対象に講演
感染症の予防と対応について	庁内職員	1回	11月11日	14人	庁内第3衛生委員会にて職員を対象に講演
感染性胃腸炎（ノロウイルス）の知識と感染拡大防止について	施設職員	1回	11月18日	20人	特別養護老人ホームのぞみの杜職員を対象に講演と実演
PPE 着脱訓練	庁内職員	2回	①12月25日 ②12月26日	①10人 ②8人	保健所職員を対象に講演・実技
院内感染対策に関する調査結果報告	病院協会 市内25病院	1回	1月14日	9人	病院協会会議にて病院代表者を対象に報告

2. 結核予防（根拠法令 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律）

(1) 結核患者管理

①登録患者数（罹患率人口については10月1日時点）

区分	平成29年	平成30年	令和元年
登録患者数	167(31)	123(29)	130(26)
新登録患者数	70	48	55
罹患率（10万対率）	17.3	11.9	13.8
新登録塗抹陽性患者数	29	22	23
罹患率（10万対率）	7.1	5.4	5.8
塗抹陽性患者率（％）	41.4	45.8	41.8

（ ）内は潜在性結核感染症患者数

②登録患者の状況

ア 登録時総合患者分類コード別、年齢階級別新登録者数（確定値）（平成31年1月～令和元年12月）

区分	活動性結核					合計	潜在性結核
	肺結核活動性				肺外結核活動性		
	登録時喀痰塗抹陽性		登録時その他の菌陽性	登録時菌陰性・その他			
	初回治療	再治療					
0～4歳	0	0	0	0	0	0	3
5～9歳	0	0	0	0	0	0	0
10～14歳	0	0	0	0	0	0	0
15～19歳	0	0	0	0	0	0	0
20～29歳	2	0	4	1	0	7	3
30～39歳	0	0	1	0	0	1	0
40～49歳	1	0	2	0	0	3	7
50～59歳	1	0	2	1	0	4	2
60～69歳	4	0	4	2	0	10	3
70～79歳	6	0	2	1	2	11	1
80～89歳	6	0	3	1	3	13	0
90～99歳	3	0	0	1	3	7	0
合計	23	0	18	7	8	56	19

イ 活動性分類別受療状況別登録者数（概数値）（令和元年末現在）

区分	活動性結核				肺外結核活動性	不活動性結核	活動性不明	合計	潜在性結核
	肺結核活動性								
	登録時 喀痰塗抹陽性		登録時 その他の 菌陽性	登録時菌 陰性・そ の他					
	初回治療	再治療							
入院(他疾患 入院含む)	5	0	1	0	3	0	0	9	0
外来(通院)	6	0	13	5	6	0	0	30	9
治療なし	0	0	0	0	1	79	11	91	17
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	11	0	14	5	10	79	11	130	26

(2) 結核検診業務

①管理検診実施状況

対象者数 (実人数)	受診者数（実人数）				受診率 (%)	再発患者数 (実人数)
	保健所	委託医療機関	その他	合計		
114	24	1	82	107	93.9	0

②接触者健康診断実施状況

ア 接触者健康診断実施状況

対象者数 (実人数)	受診者数（実人数）				受診率 (%)	発見患者数（実人数）		
	保健所	委託医療機関	その他	合計		結核	潜在性結核感染症	結核発病のおそれ
425	212	44	154	410	96.5	0	7	0

イ 接触者健康診断検査別実施状況

検査項目	受診者数（実人数）							
	保健所		委託医療機関		その他		合計	
	家族	接触者	家族	接触者	家族	接触者	家族	接触者
ツベルクリン反応検査	0	1	0	2	0	0	0	3
I G R A検査	45	111	10	15	3	88	58	214
胸部エックス線直接撮影	28	27	4	13	14	49	46	89
喀痰検査	0	0	0	0	0	0	0	0

③管内結核定期健康診断予防接種実施状況

項目		事業者	学校長	施設の長	市町村長		合計
					乳幼児	その他	
B C G接種数					2,655	－	2,655
間接撮影者数		1,013	4,472	0	－	－	5,485
直接撮影者数		12,465	2,315	1,075	－	19,049	34,904
発見患者数	結核	0	0	0	－	2	2
	潜在性結核感染症	0	0	0	－	0	0
	結核発病のおそれ	0	0	0	－	0	0

(3) 地域DOTS（直接服薬確認療法）支援

①地域DOTS実施率（対象者：平成30年1月1日～12月31日の新規登録患者）

区分	H30 新規 登録 者数	地域 DOTS 対象外	地域DOTS 対象者数 (実人数)	実施者数（実人数）				実施率 （%）
				DOTSランク			合計	
				A （原則 毎日）	B （１週に１回 ～２回以上）	C （月に１回 以上）		
結核患者	50	15※	35	0	1	34	35	100%
潜在性結 核感染症	19	0	19	0	0	19	19	100%
合計	69	15※	54	0	1	53	54	100%

※対象外15名とは、死亡または治療期間中入院中のケースのため対象外とする。

②地域DOTS支援率

区分	H30 対象者数	DOTS支援率				
		100%～81%	80%～51%	50%～21%	20%以下	対象外
結核患者	50	33	1	1	0	15
潜在性結核感染症	19	18	1	0	0	0
合計	69	51	2	1	0	15

(4) 予防啓発事業（結核関係）

テーマ	対象	実施回数	実施時期	延参加者数	イベント名・内容等
結核について	枚方市訪問看護ステーション連絡会会員	1回	4月10日	20人	枚方市訪問看護ステーション連絡会にて講演
胸部エックス線検査を受けましょう	イベント参加者	1回	6月11日	151人	ひらかた健活フェス参加者に啓発グッズ配布
結核について	シェアハウス職員・入居者	1回	6月25日	11人	シェアハウス職員・入居者を対象に講演
胸部エックス線検査を受けましょう	講座受講者	2回	①7月25日 ②11月6日	①25人 ②20人	ひらかた元気くらわんか体操介護予防・もの知り隊講座受講者を対象に講演
胸部エックス線検査を受けましょう	特定医療費（指定難病）更新申請者	21回	8～10月	1,738人	特定医療費（指定難病）更新申請者を対象に講演
胸部エックス線検査を受けましょう	イベント参加者	1回	9月13日	260人	敬老のつどいにて啓発グッズ配布
結核について	歯科医師会会員	1回	9月21日	150人	枚方市歯科医師会医療安全講習会で講演
胸部エックス線検査を受けましょう	講座受講者	2回	①9月24日 ②9月26日	①30人 ②20人	あなたでもできる全身運動ノルディック・ウォーク講座で講演
結核予防週間	市民	-	9月24日～30日	-	・広報・市政情報モニター・SNS等による情報発信 ・市役所本館に懸垂幕、保健所内に啓発ブースを設置
結核とは	施設職員	1回	1月22日	6人	エイジフリー津田職員を対象に講演
胸部エックス線検査を受けましょう	市民	-	6月～3月	-	市内の高齢者に関する関係課にポスター掲示、来所者へ啓発グッズ配布

3. 性感染症予防（根拠法令 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律）

(1) 性感染症検査実施状況

	検査数	陽性数	陽性率 (%)	年間開催回数
H I V	459	0	0	48回
梅毒	450	17	3.8	
クラミジア	397	29	7.3	

(2) エイズ／H I V相談（※H I V検査前の相談は含まず）

	件数
来所	449
電話	11
合計	460

(3) 予防啓発事業（性感染症関係）

テーマ・イベント名	対象	実施回数	実施時期	延参加者数	内容等
①H I V検査普及週間 ②世界エイズデー	大学生 市民 職域 職員	-	①6月 ②12月	-	- 管内6大学、庁内関係課、関係施設、健康優良企業へのポスターやチラシ、啓発グッズの配布 - 広報、市政情報モニター、SNS等による情報発信 - 保健所内ロビーでのブース展示 - 京阪枚方市駅デジタルサイネージによる啓発 11/29枚方市駅コンコースにて街頭キャンペーン実施、市長も参加し啓発グッズ配布
大学健康フェアでの啓発（保健企画課と共催）	大学生	5回	10～11月	-	関西外国語大学（中宮キャンパス）、関西外国語大学（御殿山キャンパス）、摂南大学、大阪工業大学、大阪歯科大学の食堂等にブースを設置し啓発
エイズ予防週間実行委員会（府・8市）での共催事業	イベント参加者等	-	11～12月	-	- 大阪エイズウィークスとして御堂筋のイベント（街頭キャンペーン）に参加し、啓発ブース展示と啓発グッズ配布 - JR大阪駅・天王寺駅中央改札でのデジタルサイネージによる啓発

4. 肝炎・肝がん対策（根拠法令 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律）

(1) 肝炎ウイルス検査 所内実施分

	受診者数	陽性者数
B型（HBV）	16	0
C型（HCV）	16	0

(2) 肝炎ウイルス検査 委託医療機関実施分

	受診者数	陽性者数
B型（HBV）	218	0
C型（HCV）	218	0

(3) 肝炎治療医療費援助事業進達事務件数

	件数
インターフェロン治療	2
インターフェロンフリー治療	62
核酸アナログ製剤治療	289

(4) 肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業進達事務件数

	受診者数
肝がん・重度肝硬変	2

5. 母子保健（根拠法令 母子保健法、児童福祉法）

(1) 小児慢性特定疾病対策

①小児慢性特定疾病審査会 審査数及び審査状況

開催回数	審査数				
			承認数	不承認数	保留（疑義）
12回	新規	46	45	1	0
	継続	447	445	2	0
	合計	493	490	3	0

②小児慢性特定疾病医療給付申請受付数及び面接相談者数

保健所申請数		保健センター 申請数	郵送申請数	申請総数
	面接相談数			
460	45	77	34	571

③指定小児慢性特定疾病医療機関、指定医の指定状況

区分	指定小児慢性特定疾病 医療機関			指定医の 指定状況
	病院・診療所	薬局	訪問看護事業者	
新規	2	13	3	10

(2) その他医療給付申請事務取扱状況

区分	申請数	承認数	不承認数
特定不妊治療	476	475	1
不育症治療	9	9	0

6. 精神保健（根拠法令 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律）

(1) 精神保健指定医による措置診察状況等（緊急措置入院は除く）

区分		申請又は通報件数	措置入院となった数
一般人の申請によるもの		0	0
警察官の通報によるもの	通報件数	33	0
	診察件数（再掲）	5	4
精神科病院の管理者の届出によるもの		0	0
心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者に係る通報によるもの		0	0

(2) 精神保健相談、訪問指導及び集団指導

①精神保健相談、訪問指導、こころの相談

区分	精神保健相談			こころの相談	うち専用ダイヤル
		相談	訪問		
実人員	535	359	176	3, 103	864
延件数	3, 516	2, 637	879		

※専用ダイヤルは、こころの健康相談専用ダイヤルの件数

②精神保健相談内訳

区分	実施回数	精神病	老人精神保健	アルコール	思春期	心の健康づくり	その他
相談実人員	358	141	27	42	8	119	21
相談延件数	2, 637	1, 105	97	296	65	958	116
訪問実人員	176	74	7	15	2	69	9
訪問延件数	879	380	20	68	8	380	23

③精神科医師による相談

区分	実施回数	相談件数（コンサルテーション含む）
精神科医師	99	112

※件数は、①精神保健相談、訪問指導を再掲したもので内数

④自殺未遂者相談支援事業

区分	実施人数、件数
支援実人員	55
年度内新規把握数	45
総支援回数（訪問・相談・連絡・調整・会議・不在等含む）	475

※件数は、①精神保健相談、訪問指導を再掲したもので内数

⑤集団指導

事業名	対象	実施回数	参加延人数
精神保健家族教室	精神障害者を抱える家族等	2	16
ひきこもり家族交流会	ひきこもりを抱える家族	4	24
アルコール問題に悩む人達の集い等	アルコール依存症者、家族等	22	180

(3) 自殺予防対策事業

①電話相談事業（ひらかた いのちのホットライン）（社協委託）

区分	実施日数、件数
実施日数	156
相談件数	801

②人材養成事業（社協委託）

事業名	対象	実施回数	参加延人数
フォローアップ研修	電話相談員	61	563
ゲートキーパー研修	市職員、関係機関職員	1	142

③普及啓発事業（社協委託）

事業名	対象	実施回数	参加延人数
啓発イベント	市民(枚方市駅、樟葉駅)	1	

(4) 精神科病院実地指導実施状況

病院名	定例実施日	臨時実施日	実施回数
関西記念病院	令和元年10月18日	令和元年7月4日	2
東香里病院	令和元年10月31日		1
東香里第二病院	令和2年2月7日		1
大阪精神医療センター	令和元年12月17日	令和元年5月30日	2
枚方療育園	令和2年1月14日		1

(5) こころの健康増進のための連携事業（健康医療都市ひらかたコンソーシアム）

研修会	開催回数	内容等
こころの健康増進部会	2	・実務者会議 活動報告、今年度の取り組みについて ・見学、講演会、意見交換会

(6) その他の精神保健活動

区分	実施回数	参加延人数	内容（主題、実施方法）
企画・連絡会議	132		ひきこもりネットワーク会議、自殺対策ネットワーク会議、心神喪失者等医療観察法ケア会議、ケースカンファレンス、枚方市自立支援協議会、精神障害者地域移行会議、生活困窮者自立支援制度に係る支援会議
普及啓発	2	74	精神保健講演会等
専門教育	3	4	学生実習（保健師・精神保健福祉士・医学生等）
組織支援	4		断酒会

7. 難病対策（根拠法令 難病の患者に対する医療等に関する法律）

(1) 在宅難病患者訪問指導事業（医療給付申請受付及び個別援助実施状況）

①指定難病関係（対象疾病：333疾病）

告示 番号	指定難病名	新規申請 件数	不認定 件数	受給者数 (延べ)	訪問件数 (延べ)
1	球脊髄性筋萎縮症	0	0	5	3
2	筋萎縮性側索硬化症	9	0	26	80
3	脊髄性筋萎縮症	0	0	8	6
5	進行性核上性麻痺	28	0	76	18
6	パーキンソン病	107	4	513	49
7	大脳皮質基底核変性症	3	0	23	0
8	ハンチントン病	0	0	3	0
10	シャルコー・マリー・トゥース病	1	1	2	0
11	重症筋無力症	6	0	97	3
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	15	1	61	0
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	4	0	13	3
16	クロウ・深瀬症候群	0	0	1	0
17	多系統萎縮症	6	2	42	12
18	脊髄小脳変性症（多系統萎縮症を除く）	13	3	92	7
19	ライソゾーム病	2	0	12	0
20	副腎白質ジストロフィー	0	0	1	0
21	ミトコンドリア病	1	0	3	1
22	もやもや病	10	2	44	2
23	プリオン病	1	0	0	0
26	HTLV-1 関連脊髄症	0	0	4	0
28	全身性アミロイドーシス	2	0	9	0
34	神経線維腫症	2	0	23	2
35	天疱瘡	0	0	7	0
36	表皮水疱症	0	0	1	0
37	膿疱性乾癬（汎発型）	2	0	9	0
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	1	1	2	0
39	中毒性表皮壊死症	0	0	1	0
40	高安動脈炎	3	0	13	0
41	巨細胞性動脈炎	1	0	3	0
42	結節性多発動脈炎	1	0	10	0
43	顕微鏡的多発血管炎	11	1	37	0
44	多発血管炎性肉芽腫症	4	0	7	0
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	4	0	16	0
46	悪性関節リウマチ	3	0	19	0
47	バージャー病	1	0	12	0

告示 番号	指定難病名	新規申請 件数	不認定 件数	受給者数 (延べ)	訪問件数 (延べ)
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	1	0	1	0
49	全身性エリテマトーデス	18	0	202	0
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	16	0	82	2
51	全身性強皮症	13	0	95	0
52	混合性結合組織病	0	0	31	0
53	シェーグレン症候群	14	0	52	0
54	成人スチル病	5	0	8	0
55	再発性多発軟骨炎	1	0	3	0
56	ベーチェット病	4	0	57	2
57	特発性拡張型心筋症	10	0	85	1
58	肥大型心筋症	3	0	14	0
60	再生不良性貧血	14	4	41	0
61	自己免疫性溶血性貧血	1	0	3	0
62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	0	0	1	0
63	特発性血小板減少性紫斑病	22	1	101	0
65	原発性免疫不全症候群	1	0	4	0
66	I g A腎症	16	0	44	0
67	多発性嚢胞腎	10	0	30	0
68	黄色靱帯骨化症	8	0	21	0
69	後縦靱帯骨化症	26	1	141	3
70	広範脊柱管狭窄症	1	0	13	0
71	特発性大腿骨頭壊死症	11	1	40	0
72	下垂体性 ADH 分泌異常症	2	1	11	0
74	下垂体性 PRL 分泌亢進症	1	0	4	0
75	クッシング病	0	0	1	0
77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	1	0	17	0
78	下垂体前葉機能低下症	1	0	35	0
79	家族性高コレステロール血症（ホモ接合体）	0	0	2	0
81	先天性副腎皮質酵素欠損症	0	0	2	0
84	サルコイドーシス	9	3	69	0
85	特発性間質性肺炎	36	8	48	0
86	肺動脈性肺高血圧症	3	1	16	4
88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	3	0	15	4
89	リンパ管筋腫症	1	0	4	0
90	網膜色素変性症	17	2	145	0
91	バッド・キアリ症候群	0	0	1	0
93	原発性胆汁性胆管炎	5	0	71	0
94	原発性硬化性胆管炎	1	0	2	0
95	自己免疫性肝炎	3	0	18	0

告示 番号	指定難病名	新規申請 件数	不認定 件数	受給者数 (延べ)	訪問件数 (延べ)
96	クローン病	25	1	151	0
97	潰瘍性大腸炎	65	6	418	1
98	好酸球性消化管疾患	1	1	0	0
105	チャージ症候群	0	0	1	0
107	若年性特発性関節炎	0	0	1	0
111	先天性ミオパチー	0	0	2	0
113	筋ジストロフィー	2	0	17	17
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0	0	1	0
116	アトピー性脊髄炎	0	0	1	0
117	脊髄空洞症	2	1	1	0
120	遺伝性ジストニア	0	0	1	2
122	脳表ヘモジデリン沈着症	0	0	2	0
127	前頭側頭葉変性症	1	0	6	1
145	ウエスト症候群	2	1	3	6
156	レット症候群	0	0	1	1
158	結節性硬化症	1	0	4	6
162	類天疱瘡（後天性表皮水疱症を含む。）	7	1	8	0
163	特発性後天性全身性無汗症	1	1	0	0
166	弾性線維性仮性黄色腫	0	0	1	0
167	マルファン症候群	1	0	4	1
171	ウィルソン病	0	0	4	0
176	コフィン・ローリー症候群	0	0	1	0
193	ブラダー・ウィリ症候群	0	0	2	0
203	22q11.2欠失症候群	0	0	1	0
209	完全大血管転位症	1	0	3	0
212	三尖弁閉鎖症	2	1	0	0
215	ファロー四徴症	0	0	1	0
216	両大血管右室起始症	1	0	2	0
220	急速進行性糸球体腎炎	0	0	2	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	1	0	2	0
222	一次性ネフローゼ症候群	11	0	36	0
224	紫斑病性腎炎	1	1	1	0
226	間質性膀胱炎（ハンナ型）	4	1	8	0
227	オスラー病	0	0	2	0
229	肺胞蛋白症（自己免疫性又は先天性）	0	0	1	0
230	肺胞低換気症候群	1	0	1	0
235	副甲状腺機能低下症	1	0	1	0
238	ビタミンD抵抗性くる病／骨軟化症	1	0	0	0
262	原発性高カイロミクロン血症	0	0	1	0

告示 番号	指定難病名	新規申請 件数	不認定 件数	受給者数 (延べ)	訪問件数 (延べ)
266	家族性地中海熱	2	0	4	0
270	慢性再発性多発性骨髄炎	1	1	0	0
271	強直性脊椎炎	3	0	9	0
283	後天性赤芽球癆	1	0	1	0
300	I g G 4 関連疾患	5	1	16	0
306	好酸球性副鼻腔炎	15	0	35	0
331	特発性多中心性キャスルマン病	1	0	5	0
合計		679	54	3,487	237

②特定疾患関係（対象疾患：4疾患）

疾患番号	特定疾患名	受給者数	相談件数
5	スモン	3	0
18	難治性の肝炎のうち劇症肝炎	4	0
32	重症急性膵炎	0	0
38	プリオン病（ヒト由来乾燥硬膜移植によるクロイツフェルト・ヤコブ病に限る）	0	0
合計		7	0

(2) 難病患者地域支援対策推進事業

①専門相談実施状況

職種	開催回数	延件数		
		所内	訪問	合計
理学療法士	8	8	11	19
作業療法士	8	10	6	16
言語聴覚士	7	3	9	12
管理栄養士	2	3	0	3
合計	25	24	26	50

②医療講演会

対象疾病	開催回数	参加延人員	テーマ・内容等
パーキンソン病 (患者会と共催)	1	41	「飲み込み」について 知っておきたい5項目

③患者家族交流会等（集団援助事業）

対象疾病・会名称等	開催回数	参加延人員	内容等
神経難病患者家族交流会 (雑草の会)	1	20	総会・企画運営会議

④患者会活動支援

対象疾病・会名称等	開催回数	内容等
雑草の会（神経難病）	12	月に1回ボランティアの協力を得ながら自主運営
若年神経難病患者交流会		保健所は運営や内容について助言・支援
枚方網膜色素変性症の会		

⑤東ブロック事業

会議・講演会名		開催回数	参加延人員	テーマ・内容等
大阪東ブロック地域神経筋難病ネットワーク会議	実務担当者会議	3	27	基本的実施方針に関する事項、実施体制の確保に関する事項等
	難病事業検討会	2	32	
	ネットワーク会議	1	34	
医療講演会	筋萎縮性側索硬化症	1	9(22)	難病とストレス ～身体とこころの声に耳を澄ませる～
	もやもや病	1	7(17)	もやもや病の予後と日常生活における留意点について
	IgA腎症	1	8(15)	IgA腎症の理解と療養上の注意点について
	クローン病	1	14(42)	クローン病の最新治療について

() 内は東ブロック保健所管内参加数

⑥枚方市難病地域ケアシステムの構築

健康医療都市ひらかたコンソーシアム連携事業

枚方市難病対策分野 神経難病対策医療ネットワーク部会

事業名等	開催回数	参加延人員	内容等
実務者会議※	-	-	地域の難病患者の医療に関する課題を共有し解決に向けて検討する場 (構成団体11団体、オブザーバー1団体)
企画運営会議	2	26	部会運営のための企画運営団体による会議
在宅医療研修会	1	67	テーマ：「パーキンソン病 最新の診断と治療 ～専門医と在宅医 在宅療養の視点～」 対象：医師・在宅医療スタッフ

※新型コロナウイルス感染予防のため延期

8. 保健師活動（根拠法令 地域保健法等）

(1) 保健指導業務

①家庭訪問

区分	訪問指導延回数	%
感染症	289	34.8
結核（再掲）	267	-
エイズ（再掲）	1	-
その他感染症（再掲）	21	-
精神保健福祉	305	36.7
難病	237	28.5
心身障害	0	0.0
生活習慣病	0	0.0
その他疾病	0	0.0
合計	831	100.0

②健康相談

区分	実施回数	延人員
健康相談	112	924

※健康相談：年間の定例相談日を設けて実施する健康相談、保健指導等、H I V抗原抗体検査・相談（事前事後を含む）、骨髄バンク、肝炎検査等

③面接・電話等相談

区分	面接相談延件数	電話等相談延件数	合計
感染症	887	3,090	3,977
結核（再掲）	425	1,102	1,527
エイズ（再掲）	449	97	546
その他感染症（再掲）	13	1,891	1,904
精神保健福祉	134	885	1,019
難病	1,601	2,121	3,722
合計	2,622	6,096	8,718

④健康教育

区分	回数	受講者延人数
感染症	40	2,563
結核（再掲）	31	2,431
エイズ（再掲）	0	0
その他感染症（再掲）	9	132
精神保健福祉	5	170
難病	25	1,783
合計	70	4,516

(2) コーディネート・連絡調整業務

①連絡調整・検討会議

区分	コーディネート		
	個別	地域	
	延件数	会議・検討会回数	保健師参加延人数
感染症	2,364	106	200
精神	280	50	62
難病	709	52	85
合計	3,353	208	347

②調査・研究

	調査・研究名	発表学会・研究事業等	共同調査機関
1	院内感染対策に関する調査	枚方市感染症発生動向調査委員会、枚方市病院協会定例会議にて報告	枚方市病院協会
2	指定難病患者就労状況調査	日本難病看護学会、日本難病医療ネットワーク学会合同学術集会にて報告予定	-
3	人工呼吸器装着者アンケート	-	障害福祉室、保健センター
4	関西医科大学附属病院との東ブロック保健所の連携～ALS 診断から管轄保健所早期介入における手順にかかるアンケート調査	大阪東ブロック地域神経筋難病ネットワーク会議にて報告	東ブロック保健所

9. その他の活動

(1) 原子爆弾被爆者援護事業（根拠法令 原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律）

①申請・届出等の受付事務の実施

	件数
申請書受付	204

②原爆被爆者健診

	第1回	第2回
対象者	227	225
受診者	39	40
要精検者	2	2
実施時期	令和元年5月	令和元年10月

(2) アスベストによる健康被害救済対策：救済給付の認定申請等の受付事務の実施（根拠法令 石綿による健康被害の救済に関する法律）

	件数
申請書受付	2

(3) ひかり協会（森永ひ素ミルク中毒事件被害者の会）に関する事務

区分	人数
対象者	6
支援要請のあった人数	6
支援対応した人数	6

V 保健センター事務概要

1. 母子保健（根拠法令 母子保健法、児童福祉法等）

母子保健法、児童福祉法に基づき、母性と小児の健康の保持増進を図るため、母子保健サービスを実施している。

(1) 母子健康手帳交付事業（妊娠届）

届出時の週数	満11週 以内	満12～ 19週	満20～ 27週	満28週 以上	産後	不詳	合計
届出件数	2,497	57	13	7	0	2	2,576
届出総数に対する割合(%)※	96.93	2.21	0.50	0.27	0	0.08	100

※百分率(%)の合計には、誤差が生じている場合があります。

(2) 妊産婦健康診査事業

①妊婦健康診査

受診者延数	32,067
-------	--------

※償還払いと過年度受診数を含む

②産婦健康診査

受診者延数	4,454
-------	-------

※償還払いと過年度受診数を含む

③妊産婦歯科健康診査

ア 受診状況

対象者数	受診者数	受診率
2,576	777	30.2%

イ 受診結果

異常なし	要指導	要治療	合計
46	163	568	777

(3) 産後ケア事業（産後ママ安心ケアサービス）

	利用実人数	利用延件数
デイサービス	99	77
ショートステイ		178

(4) 母子訪問指導事業

①助産師による乳児・妊産婦訪問指導（未熟児を含む）

	妊婦	産婦	乳児	合計
訪問延件数	6	1,527	1,542	3,075

②保健師による乳幼児・妊産婦訪問指導

	妊婦	産婦	乳児	幼児	合計
訪問延件数	145	849	771	527	2,292

(5) 未熟児等の保健事業

①訪問指導

低体重児の届出受理件数	202
未熟児訪問指導の延件数	283

②未熟児教室

	参加児実人数	主な内容
1回目	20	年3回実施。親子のふれあい遊び、離乳食の進め方、子どもの発達についての講義、地域の遊び場紹介等
2回目	17	
3回目	14	
講演会	11	小児科医による講義等

※令和元年度よりコース制から単発制に変更。

(6) 母子健康教育事業

①マタニティスクール

	主な内容	実施回数	受講者数
ばばまクラス	沐浴実習、妊婦体験、乳児の事故予防、SBS等	5	457
わくわく出産クラス	乳児との交流、妊婦体操、出産経過と乳房管理	5	80
らくらくおしゃべり クッキング	調理体験と試食、妊娠期の栄養、食育	8	52
どきどき育児体験クラス	育児体験、絵本の紹介、乳児の事故予防	6	103
合計		24	692

②離乳食幼児食講習会

名称	対象	実施回数	受講者数
びよびよ離乳食講習会	4～7か月児をもつ保護者	21	427
ステップアップ離乳食講習会	8～18か月児をもつ保護者	11	228
ぱくぱく幼児食講習会	1歳6か月～4歳児をもつ保護者	5	56
	来年小学生になる子どもとその保護者	2	56
合計		39	767

③子育て講演会

テーマ	講師	実施回数	保育人数	受講者数
おっぱいと上手にさよならするために	助産師	4	95	113

(7) 母子健康相談事業

①母子電話来所相談（旧子育てコール）（令和元年度分から変更）

利用延件数	1,669
-------	-------

②予約制栄養相談（母子）

内容	実施回数	利用者数
定例	48	36
定例外	17	17
北部リーフ定例	12	35

定例：毎月4回、成人と同日開催

北部リーフ定例：毎月1回、成人と同日開催

③乳幼児健康相談

開催場所	開催日	実施回数	利用者数
楠葉生涯学習市民センター	第2火曜日	10	318
津田生涯学習市民センター	第2月曜日	8	214
菅原生涯学習市民センター	第2木曜日	10	661
牧野生涯学習市民センター	第3火曜日	10	477
蹉跎生涯学習市民センター	第3水曜日	10	583
南部生涯学習市民センター	第3木曜日	10	519
保健センター	第4水曜日	10	672
サプリ村野	第3金曜日（奇数月）	5	155
定例外乳幼児健康相談	不定期	40	352
合計		113	3,951

④母乳相談

実施回数	利用者数
51	620

⑤個別相談

ア 利用状況

相談日数	利用者数	
	実人数	延人数
239	1,174	1,643

イ 学年別内訳

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	小学生	合計
28	348	433	328	274	232	0	1,643

(8) 乳幼児健康診査事業

①新生児聴覚検査（平成30年10月開始）

ア 初回検査

異常なし	リファーマ		合計
	要再検査 (確認検査)	要精密検査	
2,309	56	2	2,367

イ 確認検査

異常なし	リファーマ		合計
	要経過観察	要精密検査	
36	-	20	56

②乳児一般健康診査

異常なし	異常及び異常の疑い	合計
1,982	176	2,158

③4か月児健康診査

ア 受診状況

対象児数	受診児数	受診率	実施回数
2,427	2,364	97.4%	37

イ 健診結果

異常なし	要経過観察	要精密検査	既医療	合計
1,862	438	64	0	2,364

④乳児後期健康診査

ア 受診状況

対象児数	受診児数	受診率
2,616	2,483	94.9%

イ 健診結果

異常なし	異常及び異常の疑い	合計
1,408	1,075	2,483

⑤1歳6か月児健康診査

ア 受診状況

	対象児数	受診児数	受診率	実施回数	フッ素塗布数	栄養相談数	個別相談数
全数	2,472	2,403	97.2%	36	2,374	181	263
津田生涯学習市民センター（再掲）	147	135	91.8%	3	134	12	17

イ 健診結果

異常なし	要経過観察	要精密検査	既医療	合計
1,662	698	41	2	2,403

⑥2歳6か月児歯科健康診査

ア 受診状況

対象児数	受診児数	受診率	実施回数	フッ素塗布数	栄養相談数	個別相談数
2,653	2,356	88.8%	34	2,293	144	243

イ 健診結果

異常なし	要経過観察	要精密検査	既医療	合計
1,681	673	0	2	2,356

⑦3歳6か月児健康診査

ア 受診状況

対象児数	受診児数	受診率	実施回数	フッ素塗布数	栄養相談数	個別相談数
2,819	2,535	89.9%	35	2,424	118	197

イ 健診結果

異常なし	要経過観察	要精密検査	既医療	合計
1,820	655	60	0	2,535

⑧歯科保健

ア 受診状況

	対象児数	受診児数
1歳6か月児健康診査	2,472	2,403
2歳6か月児歯科健康診査	2,653	2,356
3歳6か月児健康診査	2,819	2,532

イ 健診結果

	むし歯の 総本数	むし歯の ある人数	軟組織異常の ある人数	咬合異常のあ る人数	その他の異常 のある人数	むし歯のない 人の割合
1歳6か月児 健康診査	58	20	292	182	170	99.2%
2歳6か月児 歯科健康診査	170	66	210	277	220	97.2%
3歳6か月児 健康診査	707	245	147	323	349	90.3%

⑨眼科健康診査

ア 受診状況

眼科質問票 発送者数	眼科質問票 回収数	受診児数
2,905	2,439	133

イ 健診結果

異常なし	要経過観察	要精密検査	合計
120	2	11	133

⑩二次健康診査 (A)

ア 受診状況

	受診児数		栄養相談数	個別相談数	実施回数
	実人数	延人数			
乳児	201	244	62	22	23
幼児	53	68			
合計	254	312			

イ 健診結果

	異常なし	経過観察	要精密検査	合計
乳児	133	95	16	244
幼児	24	35	9	68
合計	157	130	25	312

⑪二次健康診査 (B)

ア 受診状況

	受診児数		個別相談数	実施回数
	実人数	延人数		
乳児	4	6	10	28
幼児	49	50		
合計	53	56		

イ 健診結果

	異常なし	要経過観察	要精密検査	合計
乳児	0	6	0	6
幼児	1	45	4	50
合計	1	51	4	56

(9) 乳幼児健康診査事後指導事業（親子教室）

①年齢別通室曜日

グループ名	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
動物グループ	1歳児	2歳児		2歳児	2歳児
果物グループ	1歳児	2歳児	0,1歳児コース制 6クール	1歳児	前期：2歳児 後期：1歳児

②学年別入室児の状況

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	合計
前年度からの継続	0	0	14	0	14
新規	12	77	69	0	158
合計	12	77	83	0	172

(10) 身体障害児及び長期療養児等療育指導事業

①専門相談

区分	開催回数	受診延人数	小児整形	小児歯科	P T	O T	S T	心理	保育士
療育相談	75	111	9	7	12	9	11	57	6

②在宅高度医療児への支援（重複あり）

高度医療の内容		人数
自己腹膜灌流（腹膜透析）		1
中心静脈栄養法（高カロリー輸液）		2
経管栄養法	鼻腔栄養	19
	胃ろう	28
自己導尿		7
ストマケア（人工肛門）		2
酸素療法		29
人工呼吸療法		20
人工呼吸療法を伴わない気管切開		10
吸引		43
その他		3

(11) 母子保健推進連絡会

日時	実施場所	参加 機関数	内容
令和元年 8月8日 午後	枚方市 保健センター	9	【産前産後サポート部会】 ・平成30年度産婦健康診査事業報告 ・産後ママ安心ケアサービス事業報告
令和元年 11月19日 午後	枚方市 保健センター	6	・平成30年度母子保健の現状 ・平成30年度1歳6か月児健康診査での未歩行児に関する報告

※構成員：枚方市医師会、枚方市歯科医師会、関西医科大学附属病院、星ヶ丘医療センター、枚方公済病院、大阪精神医療センター、市立ひらかた病院、大阪府助産師会、枚方市訪問看護ステーション連絡協議会、枚方市保健所、枚方市保健センター、その他必要と認めるもの。

産前産後サポート部会の構成員は、市内産科医療機関、助産所、大阪府助産師会。

※令和元年度から枚方市医療的ケア児等支援連絡会議の発足に伴い、小児在宅医療に関することについての議題は枚方市医療的ケア児等支援連絡会議に発展的に移行することとなった。

2. 予防接種（根拠法令 予防接種法）

予防接種法に基づき、各種感染症の発生及びまん延を予防することを目的に各種予防接種を実施している。

また、風しん対策として抗体検査や風しん等予防接種費用の助成を実施している。更に市単独事業として任意の高齢者予防接種の接種費用助成や、平成28年度から定期接種で得た免疫を治療により失った子どもへの再接種費用助成事業を継続実施している。

(1) 定期予防接種被接種者数

種別		対象年齢	接種数	禁忌数	合計
B型肝炎		生後1歳未満	7,820	11	7,831
ヒブ		生後2か月～5歳未満	10,407	13	10,420
小児用肺炎球菌		生後2か月～5歳未満	10,644	12	10,656
4種混合		生後3か月～7歳6か月未満	10,731	18	10,749
不活化ポリオ		生後3か月～7歳6か月未満	6	0	6
B C G		1歳未満	2,655	10	2,665
麻しん風しん 混合（MR）	第1期	1歳以上～2歳未満	2,655	9	2,664
	第2期	5歳以上～7歳未満で次年度小学校に入学する人	3,132	3	3,135
水痘		1歳以上～3歳未満	5,319	17	5,336
日本脳炎	第1期	生後6か月～7歳6か月未満※ ¹	9,933	24	9,957
	第2期	9歳以上～13歳未満※ ¹	3,436	7	3,443
2種混合第2期		11歳以上～13歳未満	2,942	3	2,945
子宮頸がん予防		小学校6年生相当～高校1年生相当	175	0	175
高齢者肺炎球菌		①※ ² ②※ ³	3,395	5	3,400
高齢者インフルエンザ		①65歳以上の人 ②※ ³	53,185	52	53,237

※¹ 特例対象者（平成7年4月2日～平成19年4月1日生及び平成19年4月2日～平成21年10月1日生）を含む

※² 年度中に65歳・70歳・75歳・80歳・85歳・90歳・95歳・100歳・100歳以上になる人

※³ 60～65歳未満の心臓・腎臓・呼吸器の機能障害及びヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害があり身体障害者内部障害1級と認定されている人

(2) 高齢者肺炎球菌予防接種費用助成事業（任意接種）

対象者	接種数
①75歳以上 ②65歳以上の後期高齢者医療被保険者	191

(3) 風しん対策事業

対象者	抗体検査		合計	予防接種		合計
	H I 法	E I A 法		風しん	麻しん 風しん混合	
妊娠を希望する女性	213	188	401	40	441	481
妊娠を希望する女性の配偶者	95	100	195	10	81	91
妊婦の配偶者	89	76	165	6	51	57
合計	397	364	761	56	573	629

(4) 風しん追加的対策事業

(a) 抗体検査

市単独 ※ ¹	国 ※ ²	計
2,844	572	3,416

※¹ 市と枚方市医師会との委託契約により実施

※² 国と全国の医療機関との集合契約により実施

(b) 予防接種

	市単独	国	計
麻しん風しん混合 (MR)	695	16	711
風しん	27	0	27
不適合者	1	0	1
計	723	16	739

3. 成人及び高齢者の保健事業（根拠法令：健康増進法、介護保険法）

健康増進法に基づく健康増進事業として健康手帳の交付・健康教育・健康相談・訪問指導・がん検診（胃がん・肺がん・大腸がん・子宮頸がん・乳がん）・肝炎ウイルス検診・歯周病検診を実施している他、市独自事業として前立腺がん検診やピロリ菌検査を実施し、健康管理に対する意識を高め、生活習慣病を予防し、健康増進を図るよう努めている。

また、要介護状態になることを防ぐため、介護予防事業を実施している。

(1) 健康増進計画

①概要

平成17年3月、「健やかで心豊かな生活の実現」をめざして市民一人ひとりが具体的に健康づくりに取り組む計画として「枚方市健康増進計画～ひらかた みんなで元気計画～」を策定。平成26年3月には、これまでの取り組みで明らかとなった課題に対応しつつ、今後さらに総合的な健康づくり施策を推進していくための計画として「第2次枚方市健康増進計画」を策定し、健康づくりの推進を図っている。平成30年度は、目標の達成状況や関連する取り組み状況を確認し、新たな課題や今後の取り組み方向の確認をすることを目的に中間評価を行い、そこから見えてきた課題への取り組みとして様々な機会を捉えて適正体重の周知を図っている。

②イベント

行事名	内容	参加人数
健康医療福祉フェスティバル	からだとお口の健康クイズ	480
	大腸がんクイズ	
ひらかた食育カーニバル	やってみよう！日本型食生活	380
ひらかた健康のつどい	眠活しよう！～最高の睡眠で心も体も健康に～	※ -

※新型コロナウイルス感染予防のため中止

(2) 住民健康診査

①概要

15～39歳の市民で、学校・職場の健診を受ける機会のない人、40歳以上の市民で、医療保険に加入していない人を対象に特定健康診査に準ずる内容、また、市独自項目 尿酸・貧血を追加して実施。

②受診者数

種別	男	女	合計
15～39歳	111	284	395
40歳以上	291	314	605
合計	402	598	1,000

③受診率（40歳以上のみ）

対象者数	受診者数	受診率
6,043	605	10.0%

④健診の結果

種別	受診者	異常なし	要指導者	要医療者
15～39歳	395	198	144	53
40歳以上	605	65	192	348

(3) 肝炎ウイルス検診

	受診者		B型肝炎ウイルス検診		C型肝炎ウイルス検診				
	B型	C型	陽性	陰性	判定①	判定②	判定③	判定④	判定⑤
人数	7,077	7,077	28	7,049	5	4	19	7,049	0

(4) 歯周病検診

①概要

満35・40・45・50・55・60・65・70歳の市民に対し、市内取扱開業歯科医院で実施。

②受診率

対象者数	受診者数	受診率
44,279	1,725	3.9%

③検診結果

異常なし	要指導	要治療	合計
117	378	1,230	1,725

(5) 後期高齢者歯科健康診査

①概要

満75歳以上の生活保護受給者の市民に対し、市内取扱開業歯科医院で実施。

②受診率

対象者数	受診者数	受診率
1,921	1	0.1%

③検診結果

異常なし	要指導	要治療	合計
0	0	1	1

(6) がん対策事業

①がん検診

		肺がん	子宮頸がん	胃がん		乳がん	大腸がん	前立腺がん
対象者数 (人)	40歳以上	248, 323	(20歳以上) 173, 613	(50歳以上) 185, 324		132, 256	248, 323	(50歳以上) 84, 999
	40歳～69歳	164, 569	(20～69歳) 125, 966	(50～69歳) 101, 570		84, 609	164, 569	(50～69歳) 48, 892
受診者数 (人)	40歳以上	24, 783	(20歳以上) 14, 312	(50歳以上) 4, 678 (731)※ ⁴	バリウム 3, 695	7, 573	23, 405	(50歳以上) 8, 510
					内視鏡 1, 714			
	40歳～69歳	10, 069	(20～69歳) 12, 916	(50～69歳) 2, 442	バリウム 1, 618	6, 099	11, 613	(50歳以上) 3, 166
					内視鏡 834			
受診率 (%) ※ ¹		10. 0	13. 5※ ³	4. 0※ ³		10. 8※ ³	9. 4	10. 0
受診率 (%) ※ ²		6. 1	17. 0※ ³	4. 0※ ³		13. 7※ ³	7. 1	6. 5

平成28年度から受診率の算定方法を変更、対象者の母数を全人口とする。

※¹ 40歳以上の受診率を計上（子宮頸がんは20歳以上、胃がん・前立腺がんは50歳以上）

※² 40歳～69歳の受診率を計上（子宮頸がんは20～69歳、胃がん・前立腺がんは50～69歳）

※³ $\left[\left(\text{前年度の受診者数} \right) + \left(\text{当該年度の受診者数} \right) - \left(\text{前年度及び当該年度における2年連続受診者数} \right) \right] / \left(\text{当該年度の対象者数} \right) \times 100$

※⁴ () 内は35～49歳のバリウム検査受診者数を別掲で計上

②ピロリ菌検査

ア 概要

胃がんの発生に関連があるピロリ菌について抗体検査を実施し、結果に応じた指導とともに胃がん検診の有効性を伝える。（自己負担500円）

イ 対象

満35歳～60歳でピロリ菌検査を受けたことがない人

対象者数（人）	142,329
受診者（人）	1,824
受診率（%）	1.3

③がん検診推進事業

ア 概要

特定の年齢に達した市民に対して検診手帳や検診無料クーポン券を送付し、がん検診の受診率の向上とがんの早期発見につなげ、健康知識の正しい普及及び啓発を図り、もって健康保持及び増進を図ることを目的とする。（一部国庫補助金を活用）

イ 対象（令和元年度）

大腸がん検診	40歳から60歳までの5歳刻みの人
子宮頸がん検診	20歳から40歳までの5歳刻みの女性
乳がん検診	40歳から60歳までの5歳刻みの女性
肝炎ウイルス検査	40歳から70歳までの5歳刻みの人のうち、過去に受診したことが無い人

ウ 実施状況

	子宮頸がん	乳がん	大腸がん		肝炎ウイルス検査
			男	女	
対象者数	10,729	14,075	13,752	14,075	38,065
受診者数	1,884	2,873	1,081	2,431	6,632
クーポン券利用率 (%)	17.6	20.4	7.9	17.3	17.4

④高齢者大腸がん検診補助事業

ア 対象

65・70歳の市民(枚方市国民健康保険加入者も含む)

イ 実施状況

	高齢者大腸がん	
	男	女
対象者数	5,586	6,412
受診者数	1,144	1,593
クーポン券利用率 (%)	20.5	24.8

⑤子宮頸がん検診受診勧奨

ア 対象

22・27・32・37・42歳の人に受診勧奨圧着はがきを送付

イ 実施状況

対象者数	11,017
受診者数	1,818
受診率 (%)	16.5

(7) 健康手帳の交付

	実交付者数
健康手帳交付(冊)	10,700

(8) 健康教育

区分	開催回数	参加延人数
集団健康教育	132	3,712

【健康教育再掲】

①ポピュレーション教室

教室名	開催回数	参加延人数
生活習慣病とからだのミカタ(見方・味方)教室	6	66
お手軽ストレッチ	12	257
しっかりストレッチ	11	272
チャレンジ!野菜を食べよう~野菜お手軽クッキング~	※6	123
40歳からのロコモ体操	※5	139
女性のためのぶよぶよ引き締め教室	※5	126
カラダの弱点を発見!体力測定会	9	101

※新型コロナウイルス感染予防のため中止した回を含む

②血糖コントロールセミナー

ア 対象

血糖値またはヘモグロビンA1cが要注意・要治療（治療中も含む）に該当する人、及びその家族

イ 開催状況

	内容	開催回数	延人数
第1回	講義・栄養編：からだがよろこぶ食事の話	5	104
第2回	講義・実践：からだがよろこぶ運動の話	5	84
第3回	個別相談：管理栄養士による個別面談	5	96

(9) 健康相談

※65歳以上の健康相談は、地域支援事業 介護予防普及啓発事業として別掲

①40～64歳の健康相談

	開催回数	相談延人数
重点健康相談	52	155
総合健康相談	81	2,368
合計	133	2,523

②65歳以上の健康相談

開催回数	参加人数
※145	2,138

※回数は40～64歳の健康相談と重複あり

【再掲】予約制栄養相談

内容	開催回数	相談延人数 (40～64歳)	相談延人数 (65歳以上)
定例開催	48	12	33
定例外開催	6	1	2
定例開催（北部）	12	4	10
出前栄養相談（北部）	3	0	42

(10) 訪問指導

	訪問指導実人数		訪問指導延人数	
	40～64歳	65歳以上	40～64歳	65歳以上
人数	19	72	29	97

(11) 在宅訪問歯科健康診査事業

	受診者数	検診結果		
		異常なし	要指導	要治療
人数	3	－	－	3

(12) 住民の健康づくり

①～自分のための・みんなのための～健康づくりボランティア講座

ア 概要

市民公募による、健康づくりのために活動するボランティア養成講座

イ 実施状況

回数	参加人数
9	151

②地区組織活動

	回数	参加人数
地区組織活動	97	2,353
自主活動	68	2,590
合計	165	4,943

③地区組織活動（再掲）

内容	回数	参加人数
運動編（名称：元気はつらつひらかたCity）	8	496

④その他

内容	回数	参加人数
フォローアップ研修及び全体会議	※3	97
会議等（ボランティア講座実行委員会、健康リーダー会、運動編の会議等）	12	106

※新型コロナウイルス感染予防のため中止した回を含む

（13） 成人歯科保健事業

①概要

1歳6か月児健康診査と2歳6か月児歯科健康診査時にあわせ、その保護者を対象として実施。

②実施状況

	受診者数	検診結果		
		異常なし	要指導	要治療
1歳6か月児健康診査	1,131	295	2	834
2歳6か月児歯科健康診査	1,016	259	1	756
合計	2,147	554	3	1,590

（14） 地域支援事業

①介護予防普及啓発事業（健康教育）

教室名	開催回数	参加人数
ひざ痛教室	24	480
筋力アップ教室	11	135
脳力アップ教室	6	208
脳力チェック健診	2	51
こころとからだ生き生き教室	1	15
まんてん教室	8	50
こころとからだ生き生き講座	10	141
介護予防の講演会（出前講座）	92	2,410
【再掲】健康教育（65歳以上）	-	2,855

(15) 特定保健指導

	積極的支援
対象者数	449
実施数（実施率）	59（13.1%）

※平成30年度特定健診受診者の初回面接実施率

(16) 障害者（児）施設歯科健康診査

	実施実績
実施施設数	22
実施回数	22
実施者数	197

(17) 地域拠点整備事業「すこやか健康相談室 北部リーフ」

※「すこやか健康相談室 北部リーフ」の実績は、保健センター分の再掲

①概要

平成 29 年 12 月北部支所内に開設。保健師 6 名が常駐し、相談・支援を実施。

②業務内容

妊娠届受付、家庭訪問、母乳相談、乳幼児発達相談、栄養相談、健康相談、出前健康講座、健康手帳の交付、情報（地域の子育て情報、保育所（園）・幼稚園等施設情報、高齢者に関する情報）の提供等

③窓口受付・相談（実施人数）

妊娠届	来所相談	電話相談	健康手帳 発行	出生届 面接	転入届 面接	無料券 配布	簡単な問 い合わせ	その他
475	1,330	166	33	238	31	686	305	132

④予約制相談（実施人数）

母乳相談	乳幼児発達相談	栄養相談
68	168	98

⑤地区担当保健師(5名)の家庭訪問件数

訪問件数	599
------	-----

⑥出前健康講座

実施回数	92
------	----

⑦出前健康相談

実施人数	664
------	-----

資 料 編

～平成30年死因別死亡数、性・年齢（5歳階級）～

資料編 平成30年死因別死亡数、性・年齢（5歳階級）

死因	区分	総数	0才	1～4才	5～9才	10～14才	15～19才	20～24才	25～29才	30～34才
総数	総数	3,768	9	-	1	-	2	8	5	6
	男	1,989	4	-	1	-	2	2	3	3
	女	1,779	5	-	-	-	-	6	2	3
感染症及び寄生虫症	総数	83	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	37	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	46	-	-	-	-	-	-	-	-
腸管感染症	総数	9	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	4	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	5	-	-	-	-	-	-	-	-
結核	総数	7	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	5	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	2	-	-	-	-	-	-	-	-
呼吸器結核	総数	6	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	4	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	2	-	-	-	-	-	-	-	-
その他の結核	総数	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-
敗血症	総数	39	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	17	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	22	-	-	-	-	-	-	-	-
ウイルス肝炎	総数	9	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	8	-	-	-	-	-	-	-	-
B型ウイルス肝炎	総数	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C型ウイルス肝炎	総数	8	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	8	-	-	-	-	-	-	-	-
その他のウイルス肝炎	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヒト免疫不全ウイルス[HIV]病	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他の感染症及び寄生虫症	総数	19	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	10	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	9	-	-	-	-	-	-	-	-

死因	区分	総数	0才	1～4才	5～9才	10～14才	15～19才	20～24才	25～29才	30～34才
新生物	総数	1,135	-	-	-	-	-	-	-	1
	男	672	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	463	-	-	-	-	-	-	-	1
悪性新生物	総数	1,091	-	-	-	-	-	-	-	1
	男	647	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	444	-	-	-	-	-	-	-	1
口唇、口腔及び咽頭の悪性新生物	総数	25	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	14	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	11	-	-	-	-	-	-	-	-
食道の悪性新生物	総数	37	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	31	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	6	-	-	-	-	-	-	-	-
胃の悪性新生物	総数	153	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	97	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	56	-	-	-	-	-	-	-	-
結腸の悪性新生物	総数	100	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	54	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	46	-	-	-	-	-	-	-	-
直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物	総数	37	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	24	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	13	-	-	-	-	-	-	-	-
肝及び肝内胆管の悪性新生物	総数	69	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	47	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	22	-	-	-	-	-	-	-	-
胆のう及びその他の胆道の悪性新生物	総数	56	-	-	-	-	-	-	-	1
	男	25	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	31	-	-	-	-	-	-	-	1
膵の悪性新生物	総数	103	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	45	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	58	-	-	-	-	-	-	-	-
喉頭の悪性新生物	総数	3	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	3	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-
気管、気管支及び肺の悪性新生物	総数	192	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	143	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	49	-	-	-	-	-	-	-	-
皮膚の悪性新生物	総数	3	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	2	-	-	-	-	-	-	-	-

35～ 39才	40～ 44才	45～ 49才	50～ 54才	55～ 59才	60～ 64才	65～ 69才	70～ 74才	75～ 79才	80～ 84才	85～ 89才	90才 以上	不詳
3	7	21	24	28	51	122	165	208	222	167	116	-
-	-	12	15	13	34	73	108	133	141	88	55	-
3	7	9	9	15	17	49	57	75	81	79	61	-
3	6	21	23	28	50	118	161	199	216	161	104	-
-	-	12	14	13	34	70	105	127	136	84	52	-
3	6	9	9	15	16	48	56	72	80	77	52	-
-	1	-	1	3	2	2	2	5	3	5	1	-
-	-	-	1	2	2	1	2	3	1	2	-	-
-	1	-	-	1	-	1	-	2	2	3	1	-
-	-	-	1	1	3	6	7	9	4	5	1	-
-	-	-	1	1	2	5	6	8	3	5	-	-
-	-	-	-	-	1	1	1	1	1	-	1	-
-	1	3	2	5	7	14	27	30	34	20	10	-
-	-	2	2	2	6	8	18	16	22	14	7	-
-	1	1	-	3	1	6	9	14	12	6	3	-
-	-	1	-	4	5	8	10	19	19	19	15	-
-	-	1	-	2	4	5	8	11	11	6	6	-
-	-	-	-	2	1	3	2	8	8	13	9	-
-	-	1	4	-	-	8	4	5	7	5	3	-
-	-	-	3	-	-	7	3	3	5	2	1	-
-	-	1	1	-	-	1	1	2	2	3	2	-
-	-	-	1	1	3	8	11	12	13	12	8	-
-	-	-	1	-	2	6	9	7	8	9	5	-
-	-	-	-	1	1	2	2	5	5	3	3	-
-	-	2	-	-	1	1	7	12	13	12	7	-
-	-	1	-	-	1	-	3	8	7	3	2	-
-	-	1	-	-	-	1	4	4	6	9	5	-
1	1	2	3	1	6	15	14	26	19	14	1	-
-	-	2	1	1	3	3	6	16	10	3	-	-
1	1	-	2	-	3	12	8	10	9	11	1	-
-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	4	2	-	7	22	33	35	39	29	21	-
-	-	3	1	-	6	18	27	28	29	20	11	-
-	-	1	1	-	1	4	6	7	10	9	10	-
-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-
-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-

死因			区分	総数	0才	1～4才	5～9才	10～14才	15～19才	20～24才	25～29才	30～34才
	乳房の悪性新生物		総数	44	-	-	-	-	-	-	-	-
			男	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			女	44	-	-	-	-	-	-	-	-
	子宮の悪性新生物		総数	14	-	-	-	-	-	-	-	-
			男	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			女	14	-	-	-	-	-	-	-	-
	卵巣の悪性新生物		総数	11	-	-	-	-	-	-	-	-
			男	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			女	11	-	-	-	-	-	-	-	-
	前立腺の悪性新生物		総数	43	-	-	-	-	-	-	-	-
			男	43	-	-	-	-	-	-	-	-
			女	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	膀胱の悪性新生物		総数	25	-	-	-	-	-	-	-	-
			男	16	-	-	-	-	-	-	-	-
			女	9	-	-	-	-	-	-	-	-
	中枢神経系の悪性新生物		総数	8	-	-	-	-	-	-	-	-
			男	5	-	-	-	-	-	-	-	-
			女	3	-	-	-	-	-	-	-	-
	悪性リンパ腫		総数	41	-	-	-	-	-	-	-	-
			男	26	-	-	-	-	-	-	-	-
			女	15	-	-	-	-	-	-	-	-
	白血病		総数	22	-	-	-	-	-	-	-	-
			男	15	-	-	-	-	-	-	-	-
			女	7	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他のリンパ組織、造血組織等の悪性新生物		総数	15	-	-	-	-	-	-	-	-
			男	9	-	-	-	-	-	-	-	-
			女	6	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他の悪性新生物		総数	90	-	-	-	-	-	-	-	-
			男	49	-	-	-	-	-	-	-	-
			女	41	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他の新生物		総数	44	-	-	-	-	-	-	-	-
			男	25	-	-	-	-	-	-	-	-
			女	19	-	-	-	-	-	-	-	-
	中枢神経系のその他の新生物		総数	10	-	-	-	-	-	-	-	-
			男	6	-	-	-	-	-	-	-	-
			女	4	-	-	-	-	-	-	-	-
	中枢神経系を除くその他の新生物		総数	34	-	-	-	-	-	-	-	-
			男	19	-	-	-	-	-	-	-	-
			女	15	-	-	-	-	-	-	-	-

35～ 39才	40～ 44才	45～ 49才	50～ 54才	55～ 59才	60～ 64才	65～ 69才	70～ 74才	75～ 79才	80～ 84才	85～ 89才	90才 以上	不詳
-	1	1	2	2	3	7	7	8	2	8	3	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	1	1	2	2	3	7	7	8	2	8	3	-
-	-	1	2	-	2	2	2	1	3	-	1	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	1	2	-	2	2	2	1	3	-	1	-
1	2	2	-	3	-	-	1	1	-	-	1	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1	2	2	-	3	-	-	1	1	-	-	1	-
-	-	1	-	1	-	2	5	4	14	6	10	-
-	-	1	-	1	-	2	5	4	14	6	10	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	1	4	1	3	8	4	4	-
-	-	-	-	-	-	3	1	2	7	1	2	-
-	-	-	-	-	1	1	-	1	1	3	2	-
-	-	1	-	1	2	1	1	-	-	1	1	-
-	-	1	-	1	2	-	-	-	-	1	-	-
-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	1	-
-	-	2	2	2	2	5	7	6	7	4	4	-
-	-	1	2	1	2	4	3	4	4	2	3	-
-	-	1	-	1	-	1	4	2	3	2	1	-
-	-	-	1	2	2	1	3	7	3	-	3	-
-	-	-	1	1	2	1	1	5	3	-	1	-
-	-	-	-	1	-	-	2	2	-	-	2	-
-	-	-	-	-	-	4	3	3	3	1	1	-
-	-	-	-	-	-	3	2	3	1	-	-	-
-	-	-	-	-	-	1	1	-	2	1	1	-
1	-	-	2	2	4	8	13	12	24	16	8	-
-	-	-	1	1	2	4	8	8	11	10	4	-
1	-	-	1	1	2	4	5	4	13	6	4	-
-	1	-	1	-	1	4	4	9	6	6	12	-
-	-	-	1	-	-	3	3	6	5	4	3	-
-	1	-	-	-	1	1	1	3	1	2	9	-
-	1	-	1	-	-	2	2	1	1	-	2	-
-	-	-	1	-	-	2	2	-	1	-	-	-
-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2	-
-	-	-	-	-	1	2	2	8	5	6	10	-
-	-	-	-	-	-	1	1	6	4	4	3	-
-	-	-	-	-	1	1	1	2	1	2	7	-

死因	区分	総数	0才	1～4才	5～9才	10～14才	15～19才	20～24才	25～29才	30～34才
血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	総数	20	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	9	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	11	-	-	-	-	-	-	-	-
	貧血	総数	9	-	-	-	-	-	-	-
		男	4	-	-	-	-	-	-	-
		女	5	-	-	-	-	-	-	-
	その他の血液等の疾患並びに免疫機構の障害	総数	11	-	-	-	-	-	-	-
		男	5	-	-	-	-	-	-	-
		女	6	-	-	-	-	-	-	-
内分泌、栄養及び代謝疾患	総数	49	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	24	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	25	-	-	-	-	-	-	-	-
	糖尿病	総数	33	-	-	-	-	-	-	-
		男	18	-	-	-	-	-	-	-
		女	15	-	-	-	-	-	-	-
	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	総数	16	-	-	-	-	-	-	-
		男	6	-	-	-	-	-	-	-
		女	10	-	-	-	-	-	-	-
精神及び行動の障害	総数	63	-	-	-	-	-	1	-	-
	男	20	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	43	-	-	-	-	-	1	-	-
	血管性及び詳細不明の認知症	総数	58	-	-	-	-	-	-	-
		男	20	-	-	-	-	-	-	-
		女	38	-	-	-	-	-	-	-
	その他の精神及び行動の障害	総数	5	-	-	-	1	-	-	-
		男	-	-	-	-	-	-	-	-
		女	5	-	-	-	1	-	-	-
神経系の疾患	総数	144	1	-	1	-	-	-	-	1
	男	62	-	-	1	-	-	-	-	-
	女	82	1	-	-	-	-	-	-	1
	髄膜炎	総数	2	-	-	-	-	-	-	-
		男	1	-	-	-	-	-	-	-
		女	1	-	-	-	-	-	-	-
	脊椎性筋萎縮症及び関連症候群	総数	12	-	-	-	-	-	-	-
		男	2	-	-	-	-	-	-	-
		女	10	-	-	-	-	-	-	-
	パーキンソン病	総数	42	-	-	-	-	-	-	-
		男	19	-	-	-	-	-	-	-
		女	23	-	-	-	-	-	-	-

35～ 39才	40～ 44才	45～ 49才	50～ 54才	55～ 59才	60～ 64才	65～ 69才	70～ 74才	75～ 79才	80～ 84才	85～ 89才	90才 以上	不詳
-	1	-	1	-	1	1	1	1	3	7	4	-
-	1	-	-	-	1	1	1	-	1	4	-	-
-	-	-	1	-	-	-	-	1	2	3	4	-
-	1	-	1	-	1	1	-	-	-	2	3	-
-	1	-	-	-	1	1	-	-	-	1	-	-
-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	3	-
-	-	-	-	-	-	-	1	1	3	5	1	-
-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	3	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	2	1	-
1	-	-	-	-	5	6	2	7	9	6	13	-
1	-	-	-	-	4	6	1	2	6	3	1	-
-	-	-	-	-	1	-	1	5	3	3	12	-
1	-	-	-	-	3	5	2	6	7	4	5	-
1	-	-	-	-	2	5	1	2	5	2	-	-
-	-	-	-	-	1	-	1	4	2	2	5	-
-	-	-	-	-	2	1	-	1	2	2	8	-
-	-	-	-	-	2	1	-	-	1	1	1	-
-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	7	-
-	-	-	-	-	-	1	-	8	12	18	23	-
-	-	-	-	-	-	1	-	4	5	5	5	-
-	-	-	-	-	-	-	-	4	7	13	18	-
-	-	-	-	-	-	1	-	7	11	18	21	-
-	-	-	-	-	-	1	-	4	5	5	5	-
-	-	-	-	-	-	-	-	3	6	13	16	-
-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	2	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	2	-
1	-	-	1	2	3	3	13	28	41	26	23	-
-	-	-	-	1	1	1	8	12	19	11	8	-
1	-	-	1	1	2	2	5	16	22	15	15	-
-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
-	-	-	-	1	-	2	2	3	4	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-
-	-	-	-	1	-	2	2	2	3	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	2	9	17	10	4	-
-	-	-	-	-	-	-	1	4	8	4	2	-
-	-	-	-	-	-	-	1	5	9	6	2	-

死因		区分	総数	0才	1～ 4才	5～ 9才	10～ 14才	15～ 19才	20～ 24才	25～ 29才	30～ 34才					
	アルツハイマー病	総数	39	－	－	－	－	－	－	－	－					
		男	12	－	－	－	－	－	－	－	－					
		女	27	－	－	－	－	－	－	－	－					
	その他の神経系の疾患	総数	49	1	－	1	－	－	－	－	1					
		男	28	－	－	1	－	－	－	－	－					
		女	21	1	－	－	－	－	－	－	1					
眼及び附属器の疾患		総数	－	－	－	－	－	－	－	－						
		男	－	－	－	－	－	－	－	－	－					
		女	－	－	－	－	－	－	－	－	－					
耳及び乳様突起の疾患		総数	－	－	－	－	－	－	－	－	－					
		男	－	－	－	－	－	－	－	－	－					
		女	－	－	－	－	－	－	－	－	－					
循環器系の疾患		総数	1,031	1	－	－	－	－	－	2	1					
		男	550	－	－	－	－	－	－	－	1	1				
		女	481	1	－	－	－	－	－	－	1	－				
		高血圧性疾患		総数	13	－	－	－	－	－	－	－	－			
				男	6	－	－	－	－	－	－	－	－	－		
				女	7	－	－	－	－	－	－	－	－	－		
		高血圧性心疾患 及び心腎疾患		総数	9	－	－	－	－	－	－	－	－			
				男	5	－	－	－	－	－	－	－	－	－		
				女	4	－	－	－	－	－	－	－	－	－		
		その他の高血圧 性疾患		総数	4	－	－	－	－	－	－	－	－			
				男	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－		
				女	3	－	－	－	－	－	－	－	－	－		
		心疾患（高血圧性を 除く）		総数	701	1	－	－	－	－	－	－	2	－		
				男	380	－	－	－	－	－	－	－	1	－		
				女	321	1	－	－	－	－	－	－	1	－		
				慢性リウマチ性 心疾患		総数	3	－	－	－	－	－	－	－	－	
						男	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－
						女	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－
				急性心筋梗塞		総数	89	1	－	－	－	－	－	－	－	
						男	46	－	－	－	－	－	－	－	－	－
						女	43	1	－	－	－	－	－	－	－	－
その他の虚血性 心疾患				総数	337	－	－	－	－	－	－	－	－			
				男	219	－	－	－	－	－	－	－	－	－		
				女	118	－	－	－	－	－	－	－	－	－		
慢性非リウマチ 性心内膜疾患				総数	23	－	－	－	－	－	－	－	－			
				男	11	－	－	－	－	－	－	－	－	－		
				女	12	－	－	－	－	－	－	－	－	－		

35～ 39才	40～ 44才	45～ 49才	50～ 54才	55～ 59才	60～ 64才	65～ 69才	70～ 74才	75～ 79才	80～ 84才	85～ 89才	90才 以上	不詳
-	-	-	-	-	-	-	2	4	7	11	15	-
-	-	-	-	-	-	-	2	-	3	3	4	-
-	-	-	-	-	-	-	-	4	4	8	11	-
1	-	-	1	1	3	1	6	11	13	5	4	-
-	-	-	-	1	1	1	5	6	7	4	2	-
1	-	-	1	-	2	-	1	5	6	1	2	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1	9	18	18	22	31	78	84	159	188	193	226	-
1	4	16	14	17	21	55	64	108	103	99	46	-
-	5	2	4	5	10	23	20	51	85	94	180	-
-	-	1	-	-	-	-	-	1	1	2	8	-
-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	2	2	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	6	-
-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	6	-
-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	2	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	2	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-
1	7	14	12	19	25	60	58	108	120	127	147	-
1	4	13	9	14	18	45	47	70	65	66	27	-
-	3	1	3	5	7	15	11	38	55	61	120	-
-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	1	-
-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-
-	2	2	-	-	5	8	13	20	11	14	13	-
-	1	1	-	-	2	6	8	16	5	6	1	-
-	1	1	-	-	3	2	5	4	6	8	12	-
1	5	10	10	17	15	42	38	62	59	51	27	-
1	3	10	7	12	12	33	32	35	33	30	11	-
-	2	-	3	5	3	9	6	27	26	21	16	-
-	-	-	-	-	-	1	-	3	2	7	10	-
-	-	-	-	-	-	1	-	3	2	5	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	10	-

死因			区分	総数	0才	1～4才	5～9才	10～14才	15～19才	20～24才	25～29才	30～34才
	心疾患	心筋症	総数	16	-	-	-	-	-	-	-	-
			男	10	-	-	-	-	-	-	-	-
			女	6	-	-	-	-	-	-	-	-
		不整脈及び伝導障害	総数	34	-	-	-	-	-	-	-	-
			男	18	-	-	-	-	-	-	-	-
			女	16	-	-	-	-	-	-	-	-
		心不全	総数	192	-	-	-	-	-	-	1	-
			男	71	-	-	-	-	-	-	1	-
			女	121	-	-	-	-	-	-	-	-
		その他の心疾患	総数	7	-	-	-	-	-	-	1	-
			男	4	-	-	-	-	-	-	-	-
			女	3	-	-	-	-	-	-	1	-
	脳血管疾患	脳血管疾患	総数	263	-	-	-	-	-	-	-	1
			男	135	-	-	-	-	-	-	-	1
			女	128	-	-	-	-	-	-	-	-
		くも膜下出血	総数	20	-	-	-	-	-	-	-	-
			男	5	-	-	-	-	-	-	-	-
			女	15	-	-	-	-	-	-	-	-
		脳内出血	総数	91	-	-	-	-	-	-	-	1
			男	51	-	-	-	-	-	-	-	1
			女	40	-	-	-	-	-	-	-	-
		脳梗塞	総数	150	-	-	-	-	-	-	-	-
			男	78	-	-	-	-	-	-	-	-
			女	72	-	-	-	-	-	-	-	-
		その他の脳血管疾患	総数	2	-	-	-	-	-	-	-	-
			男	1	-	-	-	-	-	-	-	-
			女	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	大動脈瘤及び解離	大動脈瘤及び解離	総数	46	-	-	-	-	-	-	-	-
			男	24	-	-	-	-	-	-	-	-
			女	22	-	-	-	-	-	-	-	-
		その他の循環器系の疾患	総数	8	-	-	-	-	-	-	-	-
			男	5	-	-	-	-	-	-	-	-
			女	3	-	-	-	-	-	-	-	-
呼吸器系の疾患	呼吸器系の疾患	呼吸器系の疾患	総数	524	-	-	-	-	-	-	-	1
			男	305	-	-	-	-	-	-	-	-
			女	219	-	-	-	-	-	-	-	1
		インフルエンザ	総数	6	-	-	-	-	-	-	-	-
			男	5	-	-	-	-	-	-	-	-
			女	1	-	-	-	-	-	-	-	-

35～ 39才	40～ 44才	45～ 49才	50～ 54才	55～ 59才	60～ 64才	65～ 69才	70～ 74才	75～ 79才	80～ 84才	85～ 89才	90才 以上	不詳
-	-	-	1	1	-	1	2	3	6	-	2	-
-	-	-	1	1	-	1	2	2	2	-	1	-
-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	1	-
-	-	1	-	-	3	3	1	5	7	6	8	-
-	-	1	-	-	3	2	1	4	5	2	-	-
-	-	-	-	-	-	1	-	1	2	4	8	-
-	-	1	1	-	2	3	3	15	33	49	84	-
-	-	1	1	-	1	1	3	10	17	23	13	-
-	-	-	-	-	1	2	-	5	16	26	71	-
-	-	-	-	-	-	2	1	-	1	-	2	-
-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	-	1	-
-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-
-	2	3	5	2	4	14	22	38	58	55	59	-
-	-	2	4	2	2	7	16	27	35	25	14	-
-	2	1	1	-	2	7	6	11	23	30	45	-
-	1	-	2	-	1	2	5	2	2	2	3	-
-	-	-	2	-	-	-	2	-	-	1	-	-
-	1	-	-	-	1	2	3	2	2	1	3	-
-	1	3	2	1	3	7	6	19	13	20	15	-
-	-	2	2	1	2	4	5	11	8	9	6	-
-	1	1	-	-	1	3	1	8	5	11	9	-
-	-	-	1	1	-	5	11	17	42	32	41	-
-	-	-	-	1	-	3	9	16	26	15	8	-
-	-	-	1	-	-	2	2	1	16	17	33	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
-	-	-	1	1	1	3	4	10	7	9	10	-
-	-	-	1	1	-	2	1	8	2	6	3	-
-	-	-	-	-	1	1	3	2	5	3	7	-
-	-	-	-	-	1	1	-	2	2	-	2	-
-	-	-	-	-	1	1	-	2	1	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-
-	1	-	1	4	8	16	33	62	93	138	167	-
-	1	-	1	4	4	12	26	43	65	86	63	-
-	-	-	-	-	4	4	7	19	28	52	104	-
-	-	-	-	-	1	-	1	2	2	-	-	-
-	-	-	-	-	1	-	1	1	2	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-

死因		区分	総数	0才	1～4才	5～9才	10～14才	15～19才	20～24才	25～29才	30～34才
	肺炎	総数	267	-	-	-	-	-	-	-	-
		男	148	-	-	-	-	-	-	-	-
		女	119	-	-	-	-	-	-	-	-
	急性気管支炎	総数	1	-	-	-	-	-	-	-	-
		男	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		女	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	慢性閉塞性肺疾患	総数	46	-	-	-	-	-	-	-	-
		男	38	-	-	-	-	-	-	-	-
		女	8	-	-	-	-	-	-	-	-
	喘息	総数	2	-	-	-	-	-	-	-	-
		男	1	-	-	-	-	-	-	-	-
		女	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他の呼吸器系の疾患	総数	202	-	-	-	-	-	-	-	1
		男	113	-	-	-	-	-	-	-	-
		女	89	-	-	-	-	-	-	-	1
	消化器系の疾患	総数	167	-	-	-	-	-	-	1	-
		男	89	-	-	-	-	-	-	1	-
		女	78	-	-	-	-	-	-	-	-
	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	総数	8	-	-	-	-	-	-	-	-
		男	5	-	-	-	-	-	-	-	-
		女	3	-	-	-	-	-	-	-	-
	ヘルニア及び腸閉塞	総数	26	-	-	-	-	-	-	-	-
		男	12	-	-	-	-	-	-	-	-
		女	14	-	-	-	-	-	-	-	-
	肝疾患	総数	61	-	-	-	-	-	-	1	-
		男	39	-	-	-	-	-	-	1	-
		女	22	-	-	-	-	-	-	-	-
	肝硬変（アルコール性を除く）	総数	25	-	-	-	-	-	-	-	-
		男	15	-	-	-	-	-	-	-	-
		女	10	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他の肝疾患	総数	36	-	-	-	-	-	-	1	-
		男	24	-	-	-	-	-	-	1	-
		女	12	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他の消化器系の疾患	総数	72	-	-	-	-	-	-	-	-
		男	33	-	-	-	-	-	-	-	-
		女	39	-	-	-	-	-	-	-	-
皮膚及び皮下組織の疾患		総数	4	-	-	-	-	-	-	-	-
		男	2	-	-	-	-	-	-	-	-
		女	2	-	-	-	-	-	-	-	-

35～ 39才	40～ 44才	45～ 49才	50～ 54才	55～ 59才	60～ 64才	65～ 69才	70～ 74才	75～ 79才	80～ 84才	85～ 89才	90才 以上	不詳
-	-	-	1	1	4	5	9	22	39	82	104	-
-	-	-	1	1	2	5	7	15	29	51	37	-
-	-	-	-	-	2	-	2	7	10	31	67	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
-	-	-	-	-	-	3	4	11	14	13	1	-
-	-	-	-	-	-	2	4	9	10	13	-	-
-	-	-	-	-	-	1	-	2	4	-	1	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
-	1	-	-	3	3	8	19	27	38	43	59	-
-	1	-	-	3	1	5	14	18	24	22	25	-
-	-	-	-	-	2	3	5	9	14	21	34	-
-	1	3	3	5	7	17	12	26	26	31	35	-
-	1	1	2	4	5	16	10	15	17	8	9	-
-	-	2	1	1	2	1	2	11	9	23	26	-
-	-	-	-	-	-	-	2	1	1	2	2	-
-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	1	1	-
-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1	-
-	-	-	-	-	1	-	1	3	6	8	7	-
-	-	-	-	-	1	-	1	2	4	4	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	4	7	-
-	1	1	3	5	3	11	4	13	9	6	4	-
-	1	1	2	4	1	11	2	9	5	-	2	-
-	-	-	1	1	2	-	2	4	4	6	2	-
-	1	-	1	1	-	3	1	7	6	4	1	-
-	1	-	1	1	-	3	-	6	3	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	1	1	3	4	1	-
-	-	1	2	4	3	8	3	6	3	2	3	-
-	-	1	1	3	1	8	2	3	2	-	2	-
-	-	-	1	1	2	-	1	3	1	2	1	-
-	-	2	-	-	3	6	5	9	10	15	22	-
-	-	-	-	-	3	5	5	4	7	3	6	-
-	-	2	-	-	-	1	-	5	3	12	16	-
-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	1	-
-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-

死因	区分	総数	0才	1～ 4才	5～ 9才	10～ 14才	15～ 19才	20～ 24才	25～ 29才	30～ 34才
筋骨格系及び結合組織の疾患	総数	28		-	-	-	-	-	-	-
	男	18	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	10	-	-	-	-	-	-	-	-
腎尿路生殖器系の疾患	総数	99	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	49	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	50	-	-	-	-	-	-	-	-
	糸球体疾患及び腎尿管間質性疾患	総数	17	-	-	-	-	-	-	-
		男	4	-	-	-	-	-	-	-
		女	13	-	-	-	-	-	-	-
	腎不全	総数	74	-	-	-	-	-	-	-
		男	40	-	-	-	-	-	-	-
		女	34	-	-	-	-	-	-	-
	急性腎不全	総数	14	-	-	-	-	-	-	-
		男	8	-	-	-	-	-	-	-
		女	6	-	-	-	-	-	-	-
	慢性腎不全	総数	46	-	-	-	-	-	-	-
		男	27	-	-	-	-	-	-	-
		女	19	-	-	-	-	-	-	-
	詳細不明の腎不全	総数	14	-	-	-	-	-	-	-
		男	5	-	-	-	-	-	-	-
		女	9	-	-	-	-	-	-	-
	その他の腎尿路生殖器系の疾患	総数	8	-	-	-	-	-	-	-
		男	5	-	-	-	-	-	-	-
		女	3	-	-	-	-	-	-	-
妊娠、分娩及び産じょく	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-
周産期に発生した病態	総数	3	3	-	-	-	-	-	-	-
	男	2	2	-	-	-	-	-	-	-
	女	1	1	-	-	-	-	-	-	-
	妊娠期間及び胎児発育に関連する障害	総数	-	-	-	-	-	-	-	-
		男	-	-	-	-	-	-	-	-
		女	-	-	-	-	-	-	-	-
	出産外傷	総数	-	-	-	-	-	-	-	-
		男	-	-	-	-	-	-	-	-
		女	-	-	-	-	-	-	-	-
	周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害	総数	2	2	-	-	-	-	-	-
		男	1	1	-	-	-	-	-	-
		女	1	1	-	-	-	-	-	-

死因		区分	総数	0才	1～ 4才	5～ 9才	10～ 14才	15～ 19才	20～ 24才	25～ 29才	30～ 34才			
	周産期に特異的な感染症	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
		男	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
		女	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
		男	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
		女	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	その他の周産期に発生した病態	総数	1	1	-	-	-	-	-	-	-			
		男	1	1	-	-	-	-	-	-	-			
		女	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
先天奇形、変形及び染色体異常		総数	5	4	-	-	-	-	-	-	-			
		男	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-		
		女	3	2	-	-	-	-	-	-	-	-		
神経系の先天奇形		総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
		男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
循環器系の先天奇形		総数	1	1	-	-	-	-	-	-	-			
		男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		女	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-		
心臓の先天奇形		総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
		男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
その他の循環器系の先天奇形		総数	1	1	-	-	-	-	-	-	-			
		男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		女	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-		
消化器系の先天奇形		総数	1	-	-	-	-	-	-	-	-			
		男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		女	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
その他の先天奇形及び変形		総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
		男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
染色体異常、他に分類されないもの		総数	3	3	-	-	-	-	-	-	-			
		男	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-		
		女	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-		
症状、徴候及び異常臨床所見等で他に分類不可		総数	268	-	-	-	-	-	-	-	-			
		男	68	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		女	200	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		老衰		総数	243	-	-	-	-	-	-	-	-	
				男	53	-	-	-	-	-	-	-	-	-
				女	190	-	-	-	-	-	-	-	-	-

死因		区分	総数	0才	1～ 4才	5～ 9才	10～ 14才	15～ 19才	20～ 24才	25～ 29才	30～ 34才			
	乳幼児突然死症候群	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
		男	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
		女	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	その他の症状、徴候 等で他に分類不可	総数	25	-	-	-	-	-	-	-	-			
		男	15	-	-	-	-	-	-	-	-			
		女	10	-	-	-	-	-	-	-	-			
傷病及び死亡の外因		総数	145	-	-	-	-	2	7	2	2			
		男	80	-	-	-	-	2	2	1	2			
		女	65	-	-	-	-	-	5	1	-			
不慮の事故		総数	73	-	-	-	-	2	1	-	1			
		男	40	-	-	-	-	2	-	-	-	1		
		女	33	-	-	-	-	-	1	-	-	-		
		交通事故		総数	10	-	-	-	-	2	1	-	1	
				男	8	-	-	-	-	2	-	-	-	1
				女	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-
		転倒・転落		総数	19	-	-	-	-	-	-	-	-	
				男	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-
				女	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		不慮の溺死及び 溺水		総数	2	-	-	-	-	-	-	-	-	
				男	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
				女	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		不慮の窒息		総数	23	-	-	-	-	-	-	-	-	
				男	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-
				女	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		煙、火及び火炎 への曝露		総数	2	-	-	-	-	-	-	-	-	
				男	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
				女	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		有害物質による不 慮の中毒及び有害 物質への曝露		総数	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
				男	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
				女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		その他の不慮の 事故		総数	16	-	-	-	-	-	-	-	-	
				男	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-
				女	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-
自殺		総数	49	-	-	-	-	-	5	2	1			
		男	29	-	-	-	-	-	2	1	1			
		女	20	-	-	-	-	-	3	1	-			
他殺		総数	3	-	-	-	-	-	1	-	-			
		男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		女	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-		

35～ 39才	40～ 44才	45～ 49才	50～ 54才	55～ 59才	60～ 64才	65～ 69才	70～ 74才	75～ 79才	80～ 84才	85～ 89才	90才 以上	不詳
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1	-	-	1	-	-	1	2	4	2	9	4	1
1	-	-	1	-	-	1	2	3	2	5	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	4	1
2	5	10	6	7	9	6	17	15	21	15	19	-
2	3	5	4	6	6	4	8	8	9	6	12	-
-	2	5	2	1	3	2	9	7	12	9	7	-
1	2	-	-	3	2	2	10	11	14	11	13	-
1	2	-	-	2	1	1	5	6	6	4	9	-
-	-	-	-	1	1	1	5	5	8	7	4	-
1	1	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-
1	1	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
-	-	-	-	1	2	-	3	-	5	3	5	-
-	-	-	-	1	1	-	2	-	3	-	3	-
-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	3	2	-
-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
-	-	-	-	1	-	-	3	5	5	5	4	-
-	-	-	-	1	-	-	2	1	-	2	3	-
-	-	-	-	-	-	-	1	4	5	3	1	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	1	-	2	2	2	4	2	3	-
-	-	-	-	-	-	1	-	2	3	1	3	-
-	-	-	-	1	-	1	2	-	1	1	-	-
-	3	6	6	3	6	4	5	1	5	-	2	-
-	1	4	4	3	5	3	2	-	2	-	1	-
-	2	2	2	-	1	1	3	1	3	-	1	-
-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-

死因		区分	総数	0才	1～ 4才	5～ 9才	10～ 14才	15～ 19才	20～ 24才	25～ 29才	30～ 34才
	その他の外因	総数	20	－	－	－	－	－	－	－	－
		男	11	－	－	－	－	－	－	－	－
		女	9	－	－	－	－	－	－	－	－
重症急性呼吸器症候群 （SARSに限る）		総数	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		男	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		女	－	－	－	－	－	－	－	－	－

35～ 39才	40～ 44才	45～ 49才	50～ 54才	55～ 59才	60～ 64才	65～ 69才	70～ 74才	75～ 79才	80～ 84才	85～ 89才	90才 以上	不詳
1	-	3	-	1	-	-	2	3	2	4	4	-
1	-	1	-	1	-	-	1	2	1	2	2	-
-	-	2	-	-	-	-	1	1	1	2	2	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※ 厚生労働省「人口動態統計（平成30年）」

令和元年度
年 報
枚方市保健所

発行年月	令和2年11月
発行	枚方市
編集	枚方市健康福祉部保健所保健医療課 大阪府枚方市大垣内町2丁目2番2号 TEL 072-807-7623 FAX 072-845-0685